

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
令和7年度業務実績等報告書

令和8年6月

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

目

次

1	法人の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	報告の実施根拠法・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	報告の対象・・・・・・・・・・・・・・・・	1
4	報告の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5	評価方法の概要（評価基準）・・・・・・・・	2
6	自己評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	（1）総合的な評定・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	（2）中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報・・・・・・・・	3
	（3）年度計画の項目毎の評定	
	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	3
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	4
	第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	4
	第4 短期借入金の限度額	5
	第5 剰余金の使途	5
	第6 料金に関する事項	5
	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	6
	令和7年度の業務実績に関する評価基準	7
	令和7年度 業務実績 項目別自己評価シート	8

1 法人の概要

- | | |
|-------------|--|
| (1) 法人名等 | 名 称 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 |
| | 代 表 理事長 島 貫 隆 夫 |
| | 住 所 山形県酒田市あきほ町 30 番地 |
| (2) 設立年月日 | 平成 20 年 4 月 1 日 |
| (3) 設立団体 | 山形県及び酒田市 |
| (4) 資本金の額 | 196 億 2438 万 9029 円（令和 2 年 3 月 31 日変更） |
| (5) 中期目標の期間 | 令和 6 年度から令和 9 年度まで（4 年間） |
| (6) 目的及び業務 | |

ア 目 的

地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療の提供及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

イ 業 務

- ① 医療の提供に関すること。
- ② 医療に関する調査及び研究に関すること。
- ③ 医療に関する技術者の研修に関すること。
- ④ 医療に関する地域への支援に関すること。
- ⑤ 災害時における医療救護に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

2 報告の実施根拠法

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 28 条 第 2 項

3 報告の対象

令和 7 年度における地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の年度計画に対する実績の状況

※年度計画・・・中期計画に基づき、当該年度における業務運営に関する計画を定めたもの

4 報告の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（以下「病院機構」という。）が、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所（以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。）を運営するにあたり、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上及び業務運営の効率化等について自ら評価を行う。

5 評価方法の概要(評価基準)

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和7年度の業務実績に関する評価基準（別紙のとおり）

6 自己評価結果

（1）総合的な評定

ア 概況

日本海総合病院においては、救命救急センターや地域医療支援病院等の指定を受ける地域の中核病院として、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供した。

マイナンバーカードの健康保険証利用及び電子処方箋の利用を促進し、地域の医療安全の向上に努めた。

特に、DPC特定病院群の適用の維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。

日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療及び慢性期医療を適切に提供した。

日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供した。

さらに、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットへの参画により、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。

イ 患者動向

区 分	日本海総合病院			酒田リハビリ病院			診療所			計		
	R 6	R 7	増減	R 6	R 7	増減	R 6	R 7	増減	R 6	R 7	増減
延入院患者数(人)	174,770	167,469	△ 7,301	32,530	30,455	△ 2,075	－	－	－	207,300	197,924	△ 9,376
新入院患者数(人)	14,967	15,050	83	631	556	△ 75	－	－	－	15,598	15,606	8
入院/1日(人)	478.8	458.8	△ 20.0	89.1	83.4	△ 5.7	－	－	－	567.9	542.2	△ 25.7
病床稼働率(%)	81.2	77.8	△ 3.4	78.2	73.2	△ 5.0	－	－	－	－	－	－
病床回転率(%)	260.0	274.0	14.0	59.1	57.0	△ 2.1	－	－	－	－	－	－
平均在院日数(日)	11.7	11.1	△ 0.6	51.5	53.4	1.9	－	－	－	－	－	－
延外来患者数(人)	312,596	314,642	2,046	136	230	94	17,843	16,773	△ 1,070	330,575	331,645	1,070
新外来患者数(人)	26,397	26,149	△ 248	8	12	4	1,090	884	△ 206	27,495	27,045	△ 450
外来/1日(人)	1,286.4	1,300.2	13.8	0.6	1.0	0.4	77.8	78.4	0.6	1,364.8	1,379.6	14.8
延訪問看護利用者数(人)	－	－	－	－	－	－	4,885	5,078	193	4,885	5,078	193
訪問看護/1日(人)	－	－	－	－	－	－	13.8	14.1	0.3	13.8	14.1	0.3
病床数	590	590	0	114	114	0	－	－	－	704	704	0

ウ 評価した項目数

総項目数 45 項目 評価 S : 10、A : 22、B : 13、C : 0、D : 0

エ 全体評価

令和7年度計画における業務実績及び業務運営については、計画を上回っているものとして評価する。

(2) 中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
総収益 (百万円)	25,769	26,405		
総費用 (百万円)	25,870	27,112		
純利益 (百万円)	▲101	▲708		
常勤職員数 (人)	1,142	1,150		

(3) 年度計画の項目毎の評定

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

病院及び診療所による医療機能の分担と地域医療連携推進法人内での連携等により、効率的かつ効果的な業務運営を図りながら、地域の医療水準の向上に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数 32 項目 評価 S : 9、A : 16、B : 7、C : 0、D : 0

② 特筆すべき項目

- ・ 日本海総合病院においてはD P C 特定病院群の適用維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。
- ・ 日本海酒田リハビリテーション病院においては、回復期医療及び慢性期医療を適切に提供し、目標である回復期リハビリテーション実績指数について、目標値を大幅に上回ることができた。
- ・ 庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し夜間救急の診療体制を維持した。
- ・ 医師・看護師・管理栄養士等が協働し、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を継続して行った。
- ・ 中山間地域において身体の状態や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、継続的な治療を行うことを目的とした医療 M a a S (Mobility as a Service) 事業を推進し、医療提供体制の拡充を図った。
- ・ 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師・薬剤師・看護師のほか医療職 9 職種の確保に努めた。
- ・ 医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、タスクシフト・タスクシェアの推進を図るとともに、時差出勤等の活用を推進し、柔軟な勤務形態の環境整備に努めた。
- ・ 電子処方箋及び電子カルテ情報共有サービス等の医療D Xを促進することで患者の利便性向上や医療安全の向上を図りつつ、これらの取り組みを普及拡大し、医療データの利活用を推進した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

診療体制の強化や、診療報酬改定等の変化に迅速に対応するなど、収益の確保に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数 5項目 評価 S : 0、A : 4、B : 1、C : 0、D : 0

② 特筆すべき項目

- ・ 新たな施設基準の取得や見直しによる増収を図った。また、収益の確保を図るため経営戦略会議にて要件の確認及び報告を行い、データ解析を進めた後、運用改善を院内の関係部署と連携しながら実施した。
- ・ 現金支払い・クレジットカード支払いに加え、後払いサービスを導入し、支払い方法を増やすことで患者の利便性を向上させた。
- ・ 後発医薬品数量シェア率について、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院ともに目標値を上回ることができた。また、バイオ医薬品については、後続品のバイオシミラーへの切り替えを実施した。

第3 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院及び診療所を含む病院機構全体で概ね目標水準に近い実績を確保し、資金均衡に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 評価 S : 0、A : 0、B : 1、C : 0、D : 0

② 特筆すべき項目

病院機構全体で目標値には届かなかったが、目標値との乖離は1割以内に留まり、概ね目標水準に近い実績を確保した。

第4 短期借入金の限度額

ア 評 定 S「年度計画に対する実績は計画を大幅に上回っている。」

イ 理 由

短期借入金の実績なし。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 評価 S : 1、A : 0、B : 0、C : 0、D : 0

② 特筆すべき項目

計画的な資金収支に努めたため、短期借入金の必要がなかった。

第5 剰余金の使途

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目

評価 S : 0、A : 1、B : 0、C : 0、D : 0

② 特筆すべき項目

病院施設等の整備に充てるため建設改良積立金に充当した。

第6 料金に関する事項

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

病院機構の規定に基づき料金徴収を行った。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目

評価 S : 0、A : 0、B : 1、C : 0、D : 0

② 特筆すべき項目

病院機構の規定に基づき適切に使用料を徴収した。

第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

地域の医療ニーズ、医療技術の進展等を総合的に判断し、診療提供体制の検討・整備等を図った。

ウ 評価した項目

① 項目数 4項目

評価 S : 0、A : 1、B : 3、C : 0、D : 0

② 特筆すべき項目

- ・地域の医療機関の機能分化を推進するため、日本海酒田リハビリテーション病院の療養病床 35 床について休床を検討した。
- ・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。
- ・職員が業務に専念できるよう、院内保育所及び病児・病後児保育事業を継続して実施した。

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和7年度の業務実績に関する評価基準

1 令和7年度業務の実績に関する評価の基本方針

令和7年度計画の業務の実績について自己評価を行う。

2 業務の実績に関する評価の方法

計画に掲げた項目ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の状況について行う「全体評価」の2つを併せて行うものとする。

(1) 項目別評価は、年度計画の個別項目毎の進捗状況について、下記により評価するものとする。

① 業務の実施状況を幅広く把握し、可能な限り客観的な評価の実施に努める。

- ・目標数値がある場合はその達成度合い、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握して評価する。
- ・業務実績については、その数量だけでなく、その質についても考慮する。
- ・業務実績に影響を及ぼした要因、予期せぬ事情の変化等についても考慮する。

② 判定基準として以下の5段階で評価し、原則としてその理由を付記する。

(判定基準)

「S」：計画を大幅に上回っている（目標数値 110%超）

「A」：計画を上回っている（目標数値 100%超 110%以下）

「B」：計画に概ね合致している（目標数値 90%超 100%以下）

「C」：計画をやや下回っている（目標数値 60%超 90%以下）

「D」：計画を下回っており、大幅な改善が必要（目標数値 60%以下）

(2) 全体評価

全体評価は、(1)の項目別評価の結果を踏まえ、全体的な計画の進行状況や達成について、記述式等により評価するものとする。

令和7年度 業務実績 項目別自己評価シート

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和7年度 業務実績評価

評価基準 「S」:計画を大幅に上回っている 「A」:計画を上回っている 「B」:計画に概ね合致している 「C」:計画をやや下回っている 「D」:計画をやや下回っており、大幅な改善が必要

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定																																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類似項目の評定																																																
第1 中期計画の期間																																																						
令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間とする。																																																						
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																																																					
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。 また、今後の医療ニーズの変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。 また、今後の医療ニーズの変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。																																																					
(山形県・酒田市病院機構 基本理念) 思いやりの心を大切にします。 質の向上に努め、安全な医療を提供します。 地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。 持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。	(山形県・酒田市病院機構 基本理念) 思いやりの心を大切にします。 質の向上に努め、安全な医療を提供します。 地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。 持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。																																																					
1 医療機能の分化・連携の推進																																																						
	山形県地域医療構想の方向性を踏まえ、庄内地域の中核的な医療機関として、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等により地域の医療機関等との機能分担・連携を推進し、地域医療構想の達成と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担う。	・地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等の取り組みを通して、地域の医療機関及び介護・福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。 【実績】日本海ヘルスケアネット内の人事交流 <table><tr><th>出向元</th><th>出向先</th><th>職種</th><th>人数</th><th>備考</th></tr><tr><td>健友会</td><td>病院機構</td><td rowspan="4">医師</td><td>2名</td><td>平日診療</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>健友会</td><td>8名</td><td>外来、在宅往診の応援</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>継和会</td><td>1名</td><td>外来応援(毎週木曜日の午後)</td></tr><tr><td>医師会</td><td>病院機構</td><td>8名</td><td>木・土の宿日直</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>健友会</td><td rowspan="3">看護師</td><td>5名</td><td>透析室</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>宏友会</td><td>4名</td><td>老健</td></tr><tr><td>健友会</td><td>病院機構</td><td>1名</td><td>手術室</td></tr><tr><td>健友会</td><td>病院機構</td><td>臨床工学士</td><td>3名</td><td>手術室</td></tr></table> 【実績】日本海ヘルスケアネット看護管理者ネットワーク会議 <table><tr><th>活動項目</th><th>活動内容</th></tr><tr><td>「施設見学を通じた顔の見える関係作り」 内容・各参加施設の見学を通じて、課題について意見交換等の実施</td><td>施設概要や課題を共有した後、施設内見学を実施。施設見学では、見学者からの課題を共有・検討するとともに、現場のフィードバックを踏まえて今後の行動を共有した。 (令和7年6月20日 対面開催 場所:日本海総合病院)</td></tr><tr><td>「管理者間の連携強化と地域課題解決に向けた意見交換・協議」</td><td>組織課題や他施設の取り組みについて、管理者同士が共有・意見交換できる場を今年度も継続して設けた。会議では、人材確保、ICT活用、カスハラ対応やベッド管理など、幅広いテーマで実践的な協議が行われ、連携・相談できる場としても有意義な会となっている。 (令和7年11月21日 対面開催 場所:日本海総合病院) (令和8年3月25日 オンライン開催)</td></tr><tr><td>「ICTを活用したタイムリーな情報共有・意見交換体制の運用」</td><td>タイムリーな課題に対応するため、Chatworkを活用したタイムリーな情報共有・意見交換のしくみを継続的に運用した。日常的に双方向のやり取りが可能となり、必要時の情報共有・課題対応ツールとして活用できた。</td></tr></table> 【実績】日本海ヘルスケアネット介護ワーキング 介護報酬改定の動向やDX推進等の取り組みについてレベルアップを図るべく、共同研修を開催 (令和7年8月27日開催:『職場環境改善による生産性向上とサービスの質向上』) (令和8年1月16日開催:『生産性向上を介護DXから考える』) 人材の確保等を目的として、介護ワーキングの取り組み内容を紹介するパンフレットを作成 【実績】日本海ヘルスケアネット地域フォーミュラリ 良質で低価格な医薬品の使用指針に基づいて標準薬物治療を推進することを目的に、地域フォーミュラリを運用した。令和7年度は推奨薬に6薬剤(DPP-4阻害薬、DOAC、関節リウマチに対するTNFα抗体製剤、超速効型インスリン製剤、持効型インスリン製剤、テリバラチド)を追加し、計18薬剤で運用した。	出向元	出向先	職種	人数	備考	健友会	病院機構	医師	2名	平日診療	病院機構	健友会	8名	外来、在宅往診の応援	病院機構	継和会	1名	外来応援(毎週木曜日の午後)	医師会	病院機構	8名	木・土の宿日直	病院機構	健友会	看護師	5名	透析室	病院機構	宏友会	4名	老健	健友会	病院機構	1名	手術室	健友会	病院機構	臨床工学士	3名	手術室	活動項目	活動内容	「施設見学を通じた顔の見える関係作り」 内容・各参加施設の見学を通じて、課題について意見交換等の実施	施設概要や課題を共有した後、施設内見学を実施。施設見学では、見学者からの課題を共有・検討するとともに、現場のフィードバックを踏まえて今後の行動を共有した。 (令和7年6月20日 対面開催 場所:日本海総合病院)	「管理者間の連携強化と地域課題解決に向けた意見交換・協議」	組織課題や他施設の取り組みについて、管理者同士が共有・意見交換できる場を今年度も継続して設けた。会議では、人材確保、ICT活用、カスハラ対応やベッド管理など、幅広いテーマで実践的な協議が行われ、連携・相談できる場としても有意義な会となっている。 (令和7年11月21日 対面開催 場所:日本海総合病院) (令和8年3月25日 オンライン開催)	「ICTを活用したタイムリーな情報共有・意見交換体制の運用」	タイムリーな課題に対応するため、Chatworkを活用したタイムリーな情報共有・意見交換のしくみを継続的に運用した。日常的に双方向のやり取りが可能となり、必要時の情報共有・課題対応ツールとして活用できた。	S			S
出向元	出向先	職種	人数	備考																																																		
健友会	病院機構	医師	2名	平日診療																																																		
病院機構	健友会		8名	外来、在宅往診の応援																																																		
病院機構	継和会		1名	外来応援(毎週木曜日の午後)																																																		
医師会	病院機構		8名	木・土の宿日直																																																		
病院機構	健友会	看護師	5名	透析室																																																		
病院機構	宏友会		4名	老健																																																		
健友会	病院機構		1名	手術室																																																		
健友会	病院機構	臨床工学士	3名	手術室																																																		
活動項目	活動内容																																																					
「施設見学を通じた顔の見える関係作り」 内容・各参加施設の見学を通じて、課題について意見交換等の実施	施設概要や課題を共有した後、施設内見学を実施。施設見学では、見学者からの課題を共有・検討するとともに、現場のフィードバックを踏まえて今後の行動を共有した。 (令和7年6月20日 対面開催 場所:日本海総合病院)																																																					
「管理者間の連携強化と地域課題解決に向けた意見交換・協議」	組織課題や他施設の取り組みについて、管理者同士が共有・意見交換できる場を今年度も継続して設けた。会議では、人材確保、ICT活用、カスハラ対応やベッド管理など、幅広いテーマで実践的な協議が行われ、連携・相談できる場としても有意義な会となっている。 (令和7年11月21日 対面開催 場所:日本海総合病院) (令和8年3月25日 オンライン開催)																																																					
「ICTを活用したタイムリーな情報共有・意見交換体制の運用」	タイムリーな課題に対応するため、Chatworkを活用したタイムリーな情報共有・意見交換のしくみを継続的に運用した。日常的に双方向のやり取りが可能となり、必要時の情報共有・課題対応ツールとして活用できた。																																																					

中期計画（令和6年度～令和9年度）		令和7年度計画		法人における自己評価					設立団体による評価																																																																																																																																								
				【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】			自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																																							
2 持続的・安定的な医療の提供及び医療水準の向上																																																																																																																																																	
(1)高度専門医療・回復期医療等の充実・強化																																																																																																																																																	
① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実等、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。 入退院支援センターの活用や診療情報の共有化等により、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。 ◆日本海総合病院（令和6年4月1日現在） <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td rowspan="4">許可病床数</td><td>一般病床</td><td>626床</td><td>586床</td><td>586床</td><td>586床</td></tr><tr><td>病床廃止</td><td>△40床</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>感染症病床</td><td>4床</td><td>4床</td><td>4床</td><td>4床</td></tr><tr><td>合計</td><td>590床</td><td>590床</td><td>590床</td><td>590床</td></tr><tr><td rowspan="4">一般病床の機能別内訳</td><td>高度急性期</td><td>123床</td><td>123床</td><td>123床</td><td>123床</td></tr><tr><td>急性期</td><td>463床</td><td>463床</td><td>463床</td><td>463床</td></tr><tr><td>休床</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td></td><td>586床</td><td>586床</td><td>586床</td><td>586床</td></tr><tr><td colspan="2">診療機能等</td><td colspan="4">・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr></table> （注）許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。 （注）一般病床の機能別内訳は中期計画策定時点での見込みであり、各年度の病床機能報告数とは一致しない場合がある。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>全身麻酔手術件数</td><td>毎年度2,600件以上</td></tr></table>						項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	許可病床数	一般病床	626床	586床	586床	586床	病床廃止	△40床	－	－	－	感染症病床	4床	4床	4床	4床	合計	590床	590床	590床	590床	一般病床の機能別内訳	高度急性期	123床	123床	123床	123床	急性期	463床	463床	463床	463床	休床	－	－	－	－		586床	586床	586床	586床	診療機能等		・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など				目標とする指標	目標値	全身麻酔手術件数	毎年度2,600件以上	① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実等、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。 入退院支援センターの活用や診療情報の共有化等により、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。 ◆日本海総合病院（令和7年4月1日現在） <table><tr><th>項目</th><th>概要</th></tr><tr><td rowspan="4">許可病床数</td><td>一般病床</td><td>586床</td></tr><tr><td>病床廃止</td><td>－</td></tr><tr><td>感染症病床</td><td>4床</td></tr><tr><td>合計</td><td>590床</td></tr><tr><td rowspan="4">一般病床の機能別内訳</td><td>高度急性期</td><td>171床</td></tr><tr><td>急性期</td><td>415床</td></tr><tr><td>休床</td><td>－</td></tr><tr><td></td><td>586床</td></tr><tr><td colspan="2">診療機能等</td><td>・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr></table> （注）許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。 （注）一般病床の機能別内訳は年度計画策定時点での見込みであり、当該年度の病床機能報告数とは一致しない場合がある。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>全身麻酔手術件数</td><td>2,600件以上</td></tr></table>		項目	概要	許可病床数	一般病床	586床	病床廃止	－	感染症病床	4床	合計	590床	一般病床の機能別内訳	高度急性期	171床	急性期	415床	休床	－		586床	診療機能等		・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	全身麻酔手術件数	2,600件以上	・日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の手術件数が271件、ロボット支援手術件数が171件、放射線治療件数が5,897件と高度専門医療の充実を図るとともに、DPC特定病院群の適用維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。 ・入退院支援センターの活用や、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の活用による診療情報の共有化等により、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図った。 ◆日本海総合病院（令和7年4月1日現在） <table><tr><th>項目</th><th>概要</th></tr><tr><td rowspan="4">許可病床数</td><td>一般病床</td><td>586床</td></tr><tr><td>病床廃止</td><td>－</td></tr><tr><td>感染症病床</td><td>4床</td></tr><tr><td>合計</td><td>590床</td></tr><tr><td rowspan="4">一般病床の機能別内訳</td><td>高度急性期</td><td>171床</td></tr><tr><td>急性期</td><td>415床</td></tr><tr><td>休床</td><td>－</td></tr><tr><td></td><td>586床</td></tr><tr><td colspan="2">診療機能等</td><td>・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr></table> （注）許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。 （注）一般病床の機能別内訳は年度計画策定時点での見込みであり、当該年度の病床機能報告数とは一致しない場合がある。 【実績】 <table><tr><th>区分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>平均在院日数</td><td>12.0日</td><td>12.0日</td><td>11.7日</td><td>11.1日</td></tr><tr><td>病床稼働率</td><td>76.8%</td><td>83.7%</td><td>81.2%</td><td>77.8%</td></tr></table> ・目標とする全身麻酔手術件数の目標値については、大幅に上回ることができた。 【実績】全身麻酔手術件数（日本海総合病院） <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>2,600件以上</td><td>2,888件</td><td>○</td><td>2,936件</td><td>○</td></tr></table>		項目	概要	許可病床数	一般病床	586床	病床廃止	－	感染症病床	4床	合計	590床	一般病床の機能別内訳	高度急性期	171床	急性期	415床	休床	－		586床	診療機能等		・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	平均在院日数	12.0日	12.0日	11.7日	11.1日	病床稼働率	76.8%	83.7%	81.2%	77.8%	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	2,600件以上	2,888件	○	2,936件	○	S			A
項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																																																													
許可病床数	一般病床	626床	586床	586床	586床																																																																																																																																												
	病床廃止	△40床	－	－	－																																																																																																																																												
	感染症病床	4床	4床	4床	4床																																																																																																																																												
	合計	590床	590床	590床	590床																																																																																																																																												
一般病床の機能別内訳	高度急性期	123床	123床	123床	123床																																																																																																																																												
	急性期	463床	463床	463床	463床																																																																																																																																												
	休床	－	－	－	－																																																																																																																																												
		586床	586床	586床	586床																																																																																																																																												
診療機能等		・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																																																																																																																															
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																
全身麻酔手術件数	毎年度2,600件以上																																																																																																																																																
項目	概要																																																																																																																																																
許可病床数	一般病床	586床																																																																																																																																															
	病床廃止	－																																																																																																																																															
	感染症病床	4床																																																																																																																																															
	合計	590床																																																																																																																																															
一般病床の機能別内訳	高度急性期	171床																																																																																																																																															
	急性期	415床																																																																																																																																															
	休床	－																																																																																																																																															
		586床																																																																																																																																															
診療機能等		・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																																																																																																																															
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																
全身麻酔手術件数	2,600件以上																																																																																																																																																
項目	概要																																																																																																																																																
許可病床数	一般病床	586床																																																																																																																																															
	病床廃止	－																																																																																																																																															
	感染症病床	4床																																																																																																																																															
	合計	590床																																																																																																																																															
一般病床の機能別内訳	高度急性期	171床																																																																																																																																															
	急性期	415床																																																																																																																																															
	休床	－																																																																																																																																															
		586床																																																																																																																																															
診療機能等		・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																																																																																																																															
区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																													
平均在院日数	12.0日	12.0日	11.7日	11.1日																																																																																																																																													
病床稼働率	76.8%	83.7%	81.2%	77.8%																																																																																																																																													
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																																																													
2,600件以上	2,888件	○	2,936件	○																																																																																																																																													
② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL（日常生活動作）の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。 ◆日本海酒田リハビリテーション病院（令和6年4月1日現在） <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td rowspan="2">許可病床数</td><td>療養病床</td><td>114床</td><td>114床</td><td>114床</td></tr><tr><td>合計</td><td>114床</td><td>114床</td><td>114床</td></tr><tr><td rowspan="4">療養病床の機能別内訳</td><td>回復期</td><td>79床</td><td>79床</td><td>79床</td></tr><tr><td>慢性期</td><td>35床</td><td>35床</td><td>35床</td></tr><tr><td>休床</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td></td><td>114床</td><td>114床</td><td>114床</td></tr><tr><td colspan="2">診療機能等</td><td colspan="4">・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr></table> （注）許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。 （注）療養病床の機能別内訳は中期計画策定時点での見込みであり、各年度の病床機能報告数とは一致しない場合がある。 【目標】日本海酒田リハビリテーション病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>回復期リハビリテーション実績指数</td><td>毎年度40点以上</td></tr></table>						項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	許可病床数	療養病床	114床	114床	114床	合計	114床	114床	114床	療養病床の機能別内訳	回復期	79床	79床	79床	慢性期	35床	35床	35床	休床	－	－	－		114床	114床	114床	診療機能等		・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など				目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上	② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL（日常生活動作）の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。 ◆日本海酒田リハビリテーション病院（令和7年4月1日現在） <table><tr><th>項目</th><th>概要</th></tr><tr><td rowspan="2">許可病床数</td><td>療養病床</td><td>114床</td></tr><tr><td>合計</td><td>114床</td></tr><tr><td rowspan="4">療養病床の機能別内訳</td><td>回復期</td><td>79床</td></tr><tr><td>慢性期</td><td>35床</td></tr><tr><td>休床</td><td>－</td></tr><tr><td></td><td>114床</td></tr><tr><td colspan="2">診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr></table> （注）許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。 （注）一般病床の機能別内訳は年度計画策定時点での見込みであり、当該年度の病床機能報告数とは一致しない場合がある。 【目標】日本海酒田リハビリテーション病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>回復期リハビリテーション実績指数</td><td>40点以上</td></tr></table>		項目	概要	許可病床数	療養病床	114床	合計	114床	療養病床の機能別内訳	回復期	79床	慢性期	35床	休床	－		114床	診療機能等		・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	40点以上	S			S																																																																						
項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																																																													
許可病床数	療養病床	114床	114床	114床																																																																																																																																													
	合計	114床	114床	114床																																																																																																																																													
療養病床の機能別内訳	回復期	79床	79床	79床																																																																																																																																													
	慢性期	35床	35床	35床																																																																																																																																													
	休床	－	－	－																																																																																																																																													
		114床	114床	114床																																																																																																																																													
診療機能等		・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																																																																																																																															
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																
回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上																																																																																																																																																
項目	概要																																																																																																																																																
許可病床数	療養病床	114床																																																																																																																																															
	合計	114床																																																																																																																																															
療養病床の機能別内訳	回復期	79床																																																																																																																																															
	慢性期	35床																																																																																																																																															
	休床	－																																																																																																																																															
		114床																																																																																																																																															
診療機能等		・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																																																																																																																															
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																
回復期リハビリテーション実績指数	40点以上																																																																																																																																																

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																																																																																										
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																																																																								
③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療ニーズを考慮した体制でへき地医療を提供する。 ◆日本海八幡クリニック(令和6年4月1日現在) <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr></table> ◆升田診療所、青沢診療所(令和6年4月1日現在) <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr></table> ◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和6年4月1日現在) <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr></table>	項 目	概 要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	項 目	概 要	標榜科	内科	項 目	概 要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療ニーズを考慮した体制でへき地医療を提供する。 ◆日本海八幡クリニック(令和7年4月1日現在) <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr></table> ◆升田診療所、青沢診療所(令和7年4月1日現在) <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr></table> ◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和7年4月1日現在) <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr></table>	項 目	概 要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	項 目	概 要	標榜科	内科	項 目	概 要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	・日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療ニーズを考慮しオンライン診療を活用し医療MaaS(Mobility as a Service)を展開し、へき地医療を提供した。 ◆日本海八幡クリニック(令和7年4月1日現在) <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr></table> 【実績】日本海八幡クリニック <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>16,315名</td><td>15,026名</td><td>14,797名</td><td>14,163名</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>56.1名</td><td>50.5名</td><td>50.7名</td><td>56.7名</td></tr></table> 【実績】訪問看護ステーションやわた <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>延利用者数</td><td>3,501名</td><td>3,817名</td><td>4,885名</td><td>5,078名</td></tr><tr><td>1日平均利用者数</td><td>10.1名</td><td>10.8名</td><td>13.7名</td><td>14.1名</td></tr></table> ◆升田診療所、青沢診療所(令和7年4月1日現在) <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr></table> 【実績】升田診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> ※令和4～7年度受診希望者なし 【実績】青沢診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>69名</td><td>55名</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>5.8名</td><td>5.5名</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> ※令和6,7年度受診希望者なし ◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和7年4月1日現在) <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr></table> 【実績】松山診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>2,929名</td><td>2,739名</td><td>2,652名</td><td>2,250名</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>18.5名</td><td>25.3名</td><td>23.9名</td><td>18.9名</td></tr></table> 【実績】地見興屋診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>88名</td><td>95名</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>4.4名</td><td>6.3名</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> ※令和6,7年度受診希望者なし 【実績】飛鳥診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>422名</td><td>401名</td><td>394名</td><td>360名</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>2.7名</td><td>2.7名</td><td>3.2名</td><td>2.8名</td></tr></table> 【実績】医療MaaS・遠隔診療(日本海八幡クリニック) <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>日本海八幡クリニック・医療MaaS</td><td>—</td><td>—</td><td>375名</td><td>611名</td></tr><tr><td>飛鳥診療所遠隔診療</td><td>320名</td><td>292名</td><td>217名</td><td>229名</td></tr></table> ※医療MaaSは令和6年5月より運用開始	項 目	概 要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	延外来患者数	16,315名	15,026名	14,797名	14,163名	1日平均外来患者数	56.1名	50.5名	50.7名	56.7名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	延利用者数	3,501名	3,817名	4,885名	5,078名	1日平均利用者数	10.1名	10.8名	13.7名	14.1名	項 目	概 要	標榜科	内科	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	延外来患者数	—	—	—	—	1日平均外来患者数	—	—	—	—	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	延外来患者数	69名	55名	—	—	1日平均外来患者数	5.8名	5.5名	—	—	項 目	概 要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	延外来患者数	2,929名	2,739名	2,652名	2,250名	1日平均外来患者数	18.5名	25.3名	23.9名	18.9名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	延外来患者数	88名	95名	—	—	1日平均外来患者数	4.4名	6.3名	—	—	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	延外来患者数	422名	401名	394名	360名	1日平均外来患者数	2.7名	2.7名	3.2名	2.8名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	日本海八幡クリニック・医療MaaS	—	—	375名	611名	飛鳥診療所遠隔診療	320名	292名	217名	229名	A			A
項 目	概 要																																																																																																																																																																													
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																																																													
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																																																													
項 目	概 要																																																																																																																																																																													
標榜科	内科																																																																																																																																																																													
項 目	概 要																																																																																																																																																																													
標榜科	内科、外科																																																																																																																																																																													
診療機能等	松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																																																													
項 目	概 要																																																																																																																																																																													
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																																																													
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																																																													
項 目	概 要																																																																																																																																																																													
標榜科	内科																																																																																																																																																																													
項 目	概 要																																																																																																																																																																													
標榜科	内科、外科																																																																																																																																																																													
診療機能等	松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																																																													
項 目	概 要																																																																																																																																																																													
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																																																													
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																																																													
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																										
延外来患者数	16,315名	15,026名	14,797名	14,163名																																																																																																																																																																										
1日平均外来患者数	56.1名	50.5名	50.7名	56.7名																																																																																																																																																																										
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																										
延利用者数	3,501名	3,817名	4,885名	5,078名																																																																																																																																																																										
1日平均利用者数	10.1名	10.8名	13.7名	14.1名																																																																																																																																																																										
項 目	概 要																																																																																																																																																																													
標榜科	内科																																																																																																																																																																													
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																										
延外来患者数	—	—	—	—																																																																																																																																																																										
1日平均外来患者数	—	—	—	—																																																																																																																																																																										
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																										
延外来患者数	69名	55名	—	—																																																																																																																																																																										
1日平均外来患者数	5.8名	5.5名	—	—																																																																																																																																																																										
項 目	概 要																																																																																																																																																																													
標榜科	内科、外科																																																																																																																																																																													
診療機能等	松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																																																													
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																										
延外来患者数	2,929名	2,739名	2,652名	2,250名																																																																																																																																																																										
1日平均外来患者数	18.5名	25.3名	23.9名	18.9名																																																																																																																																																																										
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																										
延外来患者数	88名	95名	—	—																																																																																																																																																																										
1日平均外来患者数	4.4名	6.3名	—	—																																																																																																																																																																										
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																										
延外来患者数	422名	401名	394名	360名																																																																																																																																																																										
1日平均外来患者数	2.7名	2.7名	3.2名	2.8名																																																																																																																																																																										
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																										
日本海八幡クリニック・医療MaaS	—	—	375名	611名																																																																																																																																																																										
飛鳥診療所遠隔診療	320名	292名	217名	229名																																																																																																																																																																										

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																																						
ア 診療体制の充実																																																																												
(ア)救急医療																																																																												
庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努めるとともに、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、一次救急医療体制を支援する。	庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努めるとともに、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、一次救急医療体制を支援する。	・庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される医療の提供に努めた。また、救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、高度な処置が必要となる重篤な患者に対する三次救急診療を日本海総合病院の医師が担い、夜間救急外来での一次救急診療については、一般社団法人酒田地区医師会十全堂所属の医師が担当し、夜間救急の診療体制を維持した。 【実績】救命救急センター延べ患者数（日本海総合病院） <table><tr><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>19,662名</td><td>20,500名</td><td>19,608名</td><td>18,141名</td></tr></table> 【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数（日本海総合病院） <table><tr><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>98名</td><td>89名</td><td>83名</td><td>62名</td></tr></table> 【実績】救急車の搬送数（日本海総合病院） <table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td rowspan="2">酒田地区</td><td>医療機関への搬送数 計</td><td>5,418名</td><td>6,001名</td><td>5,741名</td><td>5,505名</td></tr><tr><td>うち日本海総合病院への搬送数</td><td>3,645名</td><td>3,927名</td><td>3,482名</td><td>3,428名</td></tr><tr><td rowspan="2">鶴岡地区</td><td>医療機関への搬送数 計</td><td>5,334名</td><td>5,701名</td><td>5,507名</td><td>5,181名</td></tr><tr><td>うち日本海総合病院への搬送数</td><td>314名</td><td>460名</td><td>484名</td><td>375名</td></tr></table> <table><tr><td>庄内地域での日本海総合病院の割合</td><td>36.8%</td><td>37.5%</td><td>35.3%</td><td>35.6%</td></tr></table> <table><tr><td>救急搬送受入要請の応需率</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr></table> ・目標とする地域救急貢献率は、大幅に上回ることができた。 【実績】地域救急貢献率（日本海総合病院） <table><tr><td>目標値</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>32%以上</td><td>35.3%</td><td>○</td><td>35.6%</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	19,662名	20,500名	19,608名	18,141名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	98名	89名	83名	62名	区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	酒田地区	医療機関への搬送数 計	5,418名	6,001名	5,741名	5,505名	うち日本海総合病院への搬送数	3,645名	3,927名	3,482名	3,428名	鶴岡地区	医療機関への搬送数 計	5,334名	5,701名	5,507名	5,181名	うち日本海総合病院への搬送数	314名	460名	484名	375名	庄内地域での日本海総合病院の割合	36.8%	37.5%	35.3%	35.6%	救急搬送受入要請の応需率	100%	100%	100%	100%	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	32%以上	35.3%	○	35.6%	○						S			S
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																									
19,662名	20,500名	19,608名	18,141名																																																																									
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																									
98名	89名	83名	62名																																																																									
区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																							
酒田地区	医療機関への搬送数 計	5,418名	6,001名	5,741名	5,505名																																																																							
	うち日本海総合病院への搬送数	3,645名	3,927名	3,482名	3,428名																																																																							
鶴岡地区	医療機関への搬送数 計	5,334名	5,701名	5,507名	5,181名																																																																							
	うち日本海総合病院への搬送数	314名	460名	484名	375名																																																																							
庄内地域での日本海総合病院の割合	36.8%	37.5%	35.3%	35.6%																																																																								
救急搬送受入要請の応需率	100%	100%	100%	100%																																																																								
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																								
32%以上	35.3%	○	35.6%	○																																																																								
【目標】日本海総合病院 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>地域救急貢献率</td><td>毎年度32%以上</td></tr></table> (注) 地域救急貢献率=(救急車来院患者数／二次医療圏内(庄内地域)救急車搬送人数)×100	目標とする指標	目標値	地域救急貢献率	毎年度32%以上	【目標】日本海総合病院 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>地域救急貢献率</td><td>32%以上</td></tr></table> (注) 地域救急貢献率=(救急車来院患者数／二次医療圏内(庄内地域)救急車搬送人数)×100	目標とする指標	目標値	地域救急貢献率	32%以上																																																																			
目標とする指標	目標値																																																																											
地域救急貢献率	毎年度32%以上																																																																											
目標とする指標	目標値																																																																											
地域救急貢献率	32%以上																																																																											

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																														
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																																												
(イ)がん医療																																																																																		
患者の状態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、緩和ケアセンターを中心とした体制のもと、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。さらに、がん対策の進展に貢献するため、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。	① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、より適切ながん医療を提供するため、がんセンターボードを定期的に開催する。	・地域がん診療連携拠点病院として、手術や放射線療法、化学療法等の集学的治療を継続して行った。 ・放射線療法においては、より適切で効果的ながん医療の提供により、強度変調放射線治療（IMRT）、定位放射線治療（SRT）といった高度な治療を行った。 ・外来での化学療法治療の質の向上に努め、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の保険薬局の薬剤師等を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備した。 【実績】手術、放射線療法、外来化学療法件数（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>手術</td><td>1,156件</td><td>1,220件</td><td>1,250件</td><td>1,235件</td></tr><tr><td>放射線療法 （実件数）</td><td>6,582件 （184件）</td><td>6,119件 （176件）</td><td>5,510件 （139件）</td><td>5,897件 （260件）</td></tr><tr><td>うちIMRT （実件数）</td><td>2,639件 （73件）</td><td>2,825件 （86件）</td><td>2,723件 （102件）</td><td>3,184件 （106件）</td></tr><tr><td>うちSRT （実件数）</td><td>27件 （9件）</td><td>28件 （8件）</td><td>75件 （7件）</td><td>34件 （13件）</td></tr><tr><td>外来化学療法</td><td>7,503件</td><td>8,141件</td><td>8,475件</td><td>9,011件</td></tr></table> 【実績】地域の保険薬局薬剤師を対象とした研修会の実施（日本海総合病院） <table><tr><th>実施日</th><th>内 容</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和7年6月26日</td><td>連携充実加算に伴う研修会 「抗がん薬に対する副作用と対策」他</td><td>54名</td></tr></table> ・より適切ながん医療を提供するために山形大学医学部附属病院腫瘍内科医師を招集し他職種による検討を行うがんセンターボードを定期的に開催するとともに、がんゲノム検査検討会を開催し検討を行った。 【実績】がんセンターボード実績（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>回数</td><td>37回</td><td>34回</td><td>21回</td><td>17回</td></tr><tr><td>症例数</td><td>141症例</td><td>152症例</td><td>72症例</td><td>67症例</td></tr></table> 【実績】がんゲノム検査検討会実績（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>回数</td><td>18回</td><td>19回</td></tr><tr><td>症例数</td><td>58症例</td><td>49症例</td></tr></table> ・がんゲノム医療連携病院として、遺伝子パネル検査を継続して行い、一人ひとりに適した治療法の提案に努めた。 【実績】遺伝子パネル検査実施件数（日本海総合病院） <table><tr><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>75件</td><td>84件</td><td>72件</td><td>70件</td></tr></table> ・がん相談支援センターにおいて、がんの治療、セカンドオピニオン、在宅療養、医療費などについての相談に応じ、がんの治療にかかわる不安や悩みの解決をサポートした。 【実績】がん相談件数（日本海総合病院） <table><tr><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>1,384件</td><td>1,426件</td><td>1,307件</td><td>1,638件</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	手術	1,156件	1,220件	1,250件	1,235件	放射線療法 （実件数）	6,582件 （184件）	6,119件 （176件）	5,510件 （139件）	5,897件 （260件）	うちIMRT （実件数）	2,639件 （73件）	2,825件 （86件）	2,723件 （102件）	3,184件 （106件）	うちSRT （実件数）	27件 （9件）	28件 （8件）	75件 （7件）	34件 （13件）	外来化学療法	7,503件	8,141件	8,475件	9,011件	実施日	内 容	参加人数	令和7年6月26日	連携充実加算に伴う研修会 「抗がん薬に対する副作用と対策」他	54名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	回数	37回	34回	21回	17回	症例数	141症例	152症例	72症例	67症例	区 分	令和6年度	令和7年度	回数	18回	19回	症例数	58症例	49症例	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	75件	84件	72件	70件	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	1,384件	1,426件	1,307件	1,638件	A			A
	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																													
手術	1,156件	1,220件	1,250件	1,235件																																																																														
放射線療法 （実件数）	6,582件 （184件）	6,119件 （176件）	5,510件 （139件）	5,897件 （260件）																																																																														
うちIMRT （実件数）	2,639件 （73件）	2,825件 （86件）	2,723件 （102件）	3,184件 （106件）																																																																														
うちSRT （実件数）	27件 （9件）	28件 （8件）	75件 （7件）	34件 （13件）																																																																														
外来化学療法	7,503件	8,141件	8,475件	9,011件																																																																														
実施日	内 容	参加人数																																																																																
令和7年6月26日	連携充実加算に伴う研修会 「抗がん薬に対する副作用と対策」他	54名																																																																																
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																														
回数	37回	34回	21回	17回																																																																														
症例数	141症例	152症例	72症例	67症例																																																																														
区 分	令和6年度	令和7年度																																																																																
回数	18回	19回																																																																																
症例数	58症例	49症例																																																																																
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																															
75件	84件	72件	70件																																																																															
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																															
1,384件	1,426件	1,307件	1,638件																																																																															
	② 緩和ケアセンターを中心に、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。	・適切な緩和ケアの早期提供のため、緩和ケアスクリーニングを行い、緩和ケア医療の充実に努めた。 【実績】緩和ケアスクリーニング実施件数（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>入院</td><td>4,368件</td><td>4,297件</td><td>4,624件</td><td>4,844件</td></tr><tr><td>外来</td><td>658件</td><td>633件</td><td>715件</td><td>724件</td></tr></table> ・医師及び多職種に対する緩和ケア研修会を開催し、緩和ケア医療提供の体制強化に努めた。 【実績】がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>受講医師数</td><td>104名</td><td>101名</td><td>112名</td><td>110名</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入院	4,368件	4,297件	4,624件	4,844件	外来	658件	633件	715件	724件	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	受講医師数	104名	101名	112名	110名																																																							
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																														
入院	4,368件	4,297件	4,624件	4,844件																																																																														
外来	658件	633件	715件	724件																																																																														
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																														
受講医師数	104名	101名	112名	110名																																																																														

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																																						
	③ がん対策の進展に貢献するよう、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。	・がん対策の進展に貢献するよう、中級認定者を専従として1名、初級認定者を専任として1名配置し、院内がん登録及び全国がん登録を実施した。 【実績】がん登録件数（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>対象年</td><td>2021年症例</td><td>2022年症例</td><td>2023年症例</td><td>2024年症例</td></tr><tr><td>院内がん登録</td><td>1,961件</td><td>1,954件</td><td>2,005件</td><td>2,069件</td></tr><tr><td>全国がん登録</td><td>1,969件</td><td>1,964件</td><td>2,013件</td><td>2,082件</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対象年	2021年症例	2022年症例	2023年症例	2024年症例	院内がん登録	1,961件	1,954件	2,005件	2,069件	全国がん登録	1,969件	1,964件	2,013件	2,082件																																																						
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																								
対象年	2021年症例	2022年症例	2023年症例	2024年症例																																																																								
院内がん登録	1,961件	1,954件	2,005件	2,069件																																																																								
全国がん登録	1,969件	1,964件	2,013件	2,082件																																																																								
(ウ)脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患																																																																												
① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	・急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努めた。また、継続して休日のリハビリテーションを提供した。 【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海総合病院) <table><tr><td rowspan="2">区 分</td><td colspan="2">令和4年度</td><td colspan="2">令和5年度</td><td colspan="2">令和6年度</td><td colspan="2">令和7年度</td></tr><tr><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td></tr><tr><td>脳血管</td><td>851名</td><td>48,047回</td><td>821名</td><td>45,537回</td><td>734名</td><td>40,146回</td><td>755名</td><td>42,521回</td></tr><tr><td>心大血管</td><td>638名</td><td>9,731回</td><td>652名</td><td>8,944回</td><td>658名</td><td>8,578回</td><td>639名</td><td>10,332回</td></tr></table> 【実績】休日のリハビリテーション実施状況(日本海総合病院) <table><tr><td rowspan="2">区 分</td><td colspan="2">令和4年度</td><td colspan="2">令和5年度</td><td colspan="2">令和6年度</td><td colspan="2">令和7年度</td></tr><tr><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td></tr><tr><td>脳血管</td><td>612名</td><td>2,706回</td><td>661名</td><td>3,956回</td><td>609名</td><td>4,177回</td><td>666名</td><td>5,374回</td></tr><tr><td>心大血管</td><td>395名</td><td>757回</td><td>400名</td><td>956回</td><td>429名</td><td>901回</td><td>467名</td><td>1,154回</td></tr></table>	区 分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	851名	48,047回	821名	45,537回	734名	40,146回	755名	42,521回	心大血管	638名	9,731回	652名	8,944回	658名	8,578回	639名	10,332回	区 分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	612名	2,706回	661名	3,956回	609名	4,177回	666名	5,374回	心大血管	395名	757回	400名	956回	429名	901回	467名	1,154回	A			A
区 分	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度																																																																				
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																																				
脳血管	851名	48,047回	821名	45,537回	734名	40,146回	755名	42,521回																																																																				
心大血管	638名	9,731回	652名	8,944回	658名	8,578回	639名	10,332回																																																																				
区 分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度																																																																					
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																																				
脳血管	612名	2,706回	661名	3,956回	609名	4,177回	666名	5,374回																																																																				
心大血管	395名	757回	400名	956回	429名	901回	467名	1,154回																																																																				
② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を維持する。	② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を維持する。	・脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整え、医師・看護師・コメディカルスタッフと連携し、適切かつ速やかな治療を提供した。 【実績】血栓回収療法、t-PA実施件数（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>血栓回収療法</td><td>4件</td><td>11件</td><td>13件</td><td>15件</td></tr><tr><td>t-PA</td><td>18件</td><td>24件</td><td>28件</td><td>32件</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	血栓回収療法	4件	11件	13件	15件	t-PA	18件	24件	28件	32件																																																											
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																								
血栓回収療法	4件	11件	13件	15件																																																																								
t-PA	18件	24件	28件	32件																																																																								
③ 酒田地区広域行政組合消防本部及び鶴岡市消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	③ 酒田地区広域行政組合消防本部及び鶴岡市消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	・酒田及び鶴岡地区管内全ての救急隊に配備されている12誘導心電図伝送システムを活用し、重篤患者の治療を行った。 【実績】12誘導心電図伝送件数（日本海総合病院） <table><tr><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>357件</td><td>469件</td><td>409件</td><td>475件</td></tr></table> ※酒田地区：平成31年2月から運用開始 ※鶴岡地区：令和2年12月から運用開始 ・急性心筋梗塞の救急搬送患者に対して、速やかに集中治療室に転送し、迅速な救命治療を実施した。また、病院に到着する前に院内放送で心筋梗塞チームを参集し、救急搬送直後から治療にとりかかるシステムを運用した。 【実績】経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術件数（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>急性心筋梗塞に対するもの</td><td>44件</td><td>64件</td><td>61件</td><td>50件</td></tr></table>	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	357件	469件	409件	475件	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	急性心筋梗塞に対するもの	44件	64件	61件	50件																																																								
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																									
357件	469件	409件	475件																																																																									
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																								
急性心筋梗塞に対するもの	44件	64件	61件	50件																																																																								

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類似項目の評定
(エ)糖尿病						
医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。 						

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																														
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																												
(キ)回復期リハビリテーション																																																		
脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	・脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者に加えて、廃用症候群の患者のADL(日常生活動作)を改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供した。 【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海酒田リハビリテーション病院) <table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">令和4年度</th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">令和6年度</th><th colspan="2">令和7年度</th></tr><tr><th>実患者数</th><th>回数</th><th>実患者数</th><th>回数</th><th>実患者数</th><th>回数</th><th>実患者数</th><th>回数</th></tr><tr><td>脳血管リハ</td><td>245名</td><td>83,159回</td><td>229名</td><td>88,298回</td><td>170名</td><td>64,466回</td><td>240名</td><td>97,960回</td></tr><tr><td>運動器リハ</td><td>206名</td><td>57,561回</td><td>200名</td><td>59,931回</td><td>190名</td><td>48,565回</td><td>177名</td><td>47,386回</td></tr><tr><td>廃用症候群</td><td>22名</td><td>2,968回</td><td>29名</td><td>1,933回</td><td>47名</td><td>8,754回</td><td>37名</td><td>4,863回</td></tr></table>	区 分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管リハ	245名	83,159回	229名	88,298回	170名	64,466回	240名	97,960回	運動器リハ	206名	57,561回	200名	59,931回	190名	48,565回	177名	47,386回	廃用症候群	22名	2,968回	29名	1,933回	47名	8,754回	37名	4,863回	A			A
区 分	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度																																										
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																										
脳血管リハ	245名	83,159回	229名	88,298回	170名	64,466回	240名	97,960回																																										
運動器リハ	206名	57,561回	200名	59,931回	190名	48,565回	177名	47,386回																																										
廃用症候群	22名	2,968回	29名	1,933回	47名	8,754回	37名	4,863回																																										
(ク)在宅医療支援及び療養支援																																																		
① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、関係機関との連携を図り、入院初期から積極的に支援を行う。また、酒田市と連携し、地域における医療及び介護の総合的な確保の推進に努める。	① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、関係機関との連携を図り、入院初期から積極的に支援を行う。 <																																																	

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																										
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																								
(ケ)一次医療とプライマリ・ケアの提供、充実																																														
へき地医療等、地域医療の維持・確保のため、診療所が設置されている各 地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。 また、遠隔診療・オンライン診療等の活用を推進し、中山間地域において身体 の状況や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、継続的な治療を行うことを目的に医療MaaS（Mobility as a Service）による医療提供体制の構築を図る。	① へき地医療等、地域医療の維持・確保のため、診療所が設置されている各 地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。	・へき地医療等、地域医療の維持・確保のため、診療所が設置されている各 地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介し連携を図った。 【実績】日本海総合病院への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所) <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>日本海八幡クリニック</td><td>347件</td><td>410件</td><td>433件</td><td>294件</td></tr><tr><td>松山診療所</td><td>52件</td><td>64件</td><td>59件</td><td>58件</td></tr><tr><td>飛島診療所</td><td>7件</td><td>5件</td><td>1件</td><td>11件</td></tr></table> 【実績】日本海総合病院以外への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所) <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>日本海八幡クリニック</td><td>87件</td><td>82件</td><td>107件</td><td>72件</td></tr><tr><td>松山診療所</td><td>12件</td><td>18件</td><td>17件</td><td>40件</td></tr><tr><td>飛島診療所</td><td>5件</td><td>2件</td><td>2件</td><td>3件</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	日本海八幡クリニック	347件	410件	433件	294件	松山診療所	52件	64件	59件	58件	飛島診療所	7件	5件	1件	11件	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	日本海八幡クリニック	87件	82件	107件	72件	松山診療所	12件	18件	17件	40件	飛島診療所	5件	2件	2件	3件	A			A
	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																									
日本海八幡クリニック	347件	410件	433件	294件																																										
松山診療所	52件	64件	59件	58件																																										
飛島診療所	7件	5件	1件	11件																																										
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																										
日本海八幡クリニック	87件	82件	107件	72件																																										
松山診療所	12件	18件	17件	40件																																										
飛島診療所	5件	2件	2件	3件																																										
② 遠隔診療・オンライン診療等の活用を推進し、中山間地域において身体 の状況や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、継続的な治療を提供することを目的に、医療MaaS（Mobility as a Service）事業の提供体制の充実を図る。	・オンライン診療の活用を推進し、中山間地域において身体 の状況や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、遠隔診療および医療MaaS事業体制の充実を図り、継続的な医療を提供した。 【実績】医療MaaS（日本海八幡クリニック） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>医療MaaS(自宅)</td><td>－</td><td>－</td><td>338名</td><td>494名</td></tr><tr><td>医療MaaS(介護施設)</td><td>－</td><td>－</td><td>37名</td><td>78名</td></tr><tr><td>医療MaaS(コミセン)</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>39名</td></tr></table> ※令和6年5月より運用開始 【実績】遠隔診療（飛島診療所） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>遠隔診療</td><td>320名</td><td>292名</td><td>217名</td><td>229名</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	医療MaaS(自宅)	－	－	338名	494名	医療MaaS(介護施設)	－	－	37名	78名	医療MaaS(コミセン)	－	－	－	39名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	遠隔診療	320名	292名	217名	229名															
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																										
医療MaaS(自宅)	－	－	338名	494名																																										
医療MaaS(介護施設)	－	－	37名	78名																																										
医療MaaS(コミセン)	－	－	－	39名																																										
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																										
遠隔診療	320名	292名	217名	229名																																										
イ 高度医療機器の計画的な更新・整備																																														
高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新・整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新・整備を行う。	高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新・整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新・整備を行う。	・高度専門医療等の医療機器の更新にあたっては、整備計画を策定し、それに従い整備を行った。財源としては起債及び剰余金を活用した。 ・高度医療機器については、ハイブリット手術システムを起債事業にて更新し、全自動輸血検査装置、生体情報モニター等その他の医療機器については、医療機器整備計画及び利用見込み並びに収支予測を行い、計画的に更新・整備を行った。	B			B																																								

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																					
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																			
ウ 災害時への対応																																									
災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。また、医療物資備蓄機能等を有する施設の整備について検討する。	① 災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。また、医療物資備蓄機能等を有する施設の整備について検討する。	・災害拠点病院として機能するよう、動画視聴による研修会、トリアージ研修会、机上訓練及び実働訓練を開催し、災害時の対応に備えた。 【実績】災害医療研修及び訓練(日本海総合病院) <table><tr><th>実施日</th><th>内 容</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和7年6月4日～ 令和7年11月30日</td><td>(災害医療研修会／動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ</td><td>748名</td></tr><tr><td>令和7年7月10日</td><td>(災害医療研修会／トリアージ研修会) 模擬患者を使った”トリアージ研修会”</td><td>109名</td></tr><tr><td>令和7年10月4日</td><td>(災害対応訓練／机上訓練) 災害机上訓練</td><td>169名</td></tr><tr><td>令和7年11月8日</td><td>(災害対応訓練／実働訓練) 災害実働訓練</td><td>214名</td></tr></table> ・災害時に必要な医療物資及び食料の備蓄を実施するとともに、燃料等の優先納入契約に関する協定を継続した。 【実績】医療物資等及び食料の備蓄(日本海総合病院) <table><tr><th>年度</th><th>内 容</th></tr><tr><td>令和7年度</td><td>アルファ米60箱、カロリーメイト34箱、カレー34箱、ウインナーソーセージ20箱</td></tr></table> 【実績】燃料等の優先納入契約に関する協定(日本海総合病院) <table><tr><th>締結日</th><th>内 容</th></tr><tr><td>令和7年4月1日</td><td>災害時におけるA重油の優先供給に関する協定</td></tr><tr><td>令和7年4月1日</td><td>災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定</td></tr></table> ・目標とする災害等に係る訓練及び研修会については、目標値どおり実施することができた。 【実績】災害等に係る訓練及び研修会数(日本海総合病院) <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>4回以上</td><td>4回</td><td>○</td><td>4回</td><td>○</td></tr></table>	実施日	内 容	参加人数	令和7年6月4日～ 令和7年11月30日	(災害医療研修会／動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	748名	令和7年7月10日	(災害医療研修会／トリアージ研修会) 模擬患者を使った”トリアージ研修会”	109名	令和7年10月4日	(災害対応訓練／机上訓練) 災害机上訓練	169名	令和7年11月8日	(災害対応訓練／実働訓練) 災害実働訓練	214名	年度	内 容	令和7年度	アルファ米60箱、カロリーメイト34箱、カレー34箱、ウインナーソーセージ20箱	締結日	内 容	令和7年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定	令和7年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	4回以上	4回	○	4回	○	A			A
実施日	内 容	参加人数																																							
令和7年6月4日～ 令和7年11月30日	(災害医療研修会／動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	748名																																							
令和7年7月10日	(災害医療研修会／トリアージ研修会) 模擬患者を使った”トリアージ研修会”	109名																																							
令和7年10月4日	(災害対応訓練／机上訓練) 災害机上訓練	169名																																							
令和7年11月8日	(災害対応訓練／実働訓練) 災害実働訓練	214名																																							
年度	内 容																																								
令和7年度	アルファ米60箱、カロリーメイト34箱、カレー34箱、ウインナーソーセージ20箱																																								
締結日	内 容																																								
令和7年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定																																								
令和7年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定																																								
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																					
4回以上	4回	○	4回	○																																					
	② 大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。	・大規模地震時医療活動訓練(政府総合防災訓練)及び東北ブロックDMAT参集訓練への参加、また各種DMAT研修会への参加、日赤救護班の山形県・酒田市合同総合防災訓練への参加等により、職員の技能維持並びに技能向上に取り組んだ。 ・庄内空港に設置されるSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営協力として、山形県所有のSCU医療資機材について当院で保管、点検等を実施して災害発生時に備えた。																																							

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価			
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価	
エ 新興感染症等の健康危機への対応							
第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ的確に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。 また、新興感染症の感染拡大等の健康危機事象の発生に備え、平時から病床等の確保、感染防護具等の備蓄、院内感染対策の徹底、クラスター発生時の対応方針の共有、検査体制の整備等に取り組むとともに、健康危機事象の発生時には、関係機関と密接に連携しながら迅速な対応に努める。	① 第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ的確に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。	・第二種感染症指定医療機関として、結核をはじめとする感染症患者の診療を積極的に実施し、実患者数206名受け入れた。 ・感染経路別予防策に応じた対策を行い、適切な入院環境の提供に努めた。	S			S	
	② 新興感染症の感染拡大等の健康危機事象の発生に備え、平時から病床等の確保、感染防護具等の備蓄、院内感染対策の徹底、クラスター発生時の対応方針の共有、検査体制の整備等に取り組むとともに、健康危機事象の発生時には、関係機関と密接に連携しながら迅速な対応に努める。	・山形県と医療措置協定を締結し、第一種協定指定医療機関として、流行初期から患者の入院を受け入れる病床確保や個人防護具の備蓄を実施した。 ・有事に備えて、年2回の院内感染対策研修会に加え、庄内保健所や鶴岡市立荘内病院、庄内余目病院と共催で新興感染症等の発生を想定した合同訓練を行った。 ・ICT(感染制御チーム)及びAST(抗菌薬適正使用支援チーム)主催の感染対策地域連携合同カンファレンスや保健所主催の庄内AMR(薬剤耐性)等対策ネットワークへの参画により、平時においても関係機関と顔の見える関係の維持に努めている。					
【目標】日本海総合病院		【実績】感染対策に係る活動について（日本海総合病院）					
目標とする指標		内 容		参 加 者			
新興感染症の発生を想定した研修又は訓練		令和7年7月12日 11月20日 （オンライン開催） 令和7年4月24日 6月18日 8月7日 10月22日 12月17日 令和8年2月25日 令和8年3月11日		感染対策地域連携合同カンファレンス ・薬剤耐性菌等の検出状況 ・感染症患者の発生状況 ・抗菌薬の使用状況 ・院内感染対策の実施状況 庄内AMR(薬剤耐性)等ネットワークコアメンバー会議 ・感染症発生状況 ・流行中の感染症について ・VRE 及び CRE の検出状況について ・新興感染症等の発生を想定した合同訓練の実施状況 令和7年度庄内地域結核対策研修会 ・庄内地域の結核の現状について			・医療機関 ・薬剤師会及び調剤薬局 ・高齢者施設等 ・関係行政機関
		【実績】新興感染症の発生を想定した研修又は訓練（日本海総合病院）					
		内 容		参 加 者			
		令和8年2月16日 （会場・オンラインのハイブリッド開催） 令和8年3月19日 （オンライン開催）		新興感染症等の発生を想定した合同訓練 ・新型インフルエンザ疑い患者の受け入れから入院調整・保健所連携までの初動対応を総合的に確認・強化する。 感染対策地域連携合同カンファレンス ・新興感染症等の発生を想定した合同訓練の振り返り			・医療機関 ・関係行政機関 ・高齢者施設等
		・目標である新興感染症の発生を想定した研修又は訓練について、目標値どおり実施することができた。					
		【実績】新興感染症の発生を想定した研修又は訓練（日本海総合病院）					
		目標値		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		2回以上		2回	○	2回	○
オ 政策医療の実施							
① 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。	① 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。	・認知症疾患医療センターとして、認知症患者の状況等に応じた専門医療相談、鑑別診断等を実施した。		B			B
		【実績】認知症疾患医療センター相談件数(日本海総合病院)					
		区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		新規	435件	435件	459件	497件	
		継続	250件	209件	245件	273件	
② 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に研修等を実施する。	② 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に研修等を実施する。	・脳死下臓器移植について、山形県臓器移植推進機構の協力を得ながら、院内コーディネーターを対象とした「臓器提供シミュレーション」を実施した。また、県主催の院内コーディネーター連絡会議にも参加した。		A			A
		【実績】臓器提供シミュレーション等臓器提供に関する研修（日本海総合病院）					
		実施日	内 容		参加人数		
		令和7年12月12日	脳死判定シミュレーション		12名		
		・目標である脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修について、目標値どおり実施することができた。					
		【実績】臓器シミュレーション等臓器提供に関する研修回数（日本海総合病院）					
		目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		1回以上	1回	○	1回	○	

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																															
(2)医療従事者の確保及び資質向上																																																																																																					
ア 医療従事者の確保・育成																																																																																																					
① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療従事者の適切な人員確保に努める。	① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療従事者の適切な人員確保に努める。	・高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師のほか医療職9職種の募集、職員採用試験を計画的に実施し、医療従事者の確保に努めた。 ・採用実績は、看護師39名、医療技術者については計24名の職員を確保した。（医師、事務職除く） 【実績】採用者人数（令和7年度採用試験） <table><tr><th>職 種</th><th>受験者数</th><th>内定者数</th><th>令和8年4月入職数</th></tr><tr><td>初期臨床研修医</td><td>31名</td><td>13名</td><td>12名</td></tr><tr><td>研修歯科医</td><td>4名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>看護師</td><td>47名</td><td>40名</td><td>39名</td></tr><tr><td>薬剤師</td><td>4名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>臨床検査技師</td><td>3名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>臨床工学技士</td><td>2名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>臨床放射線技師</td><td>3名</td><td>1名</td><td>1名</td></tr><tr><td>理学療法士</td><td>11名</td><td>5名</td><td>5名</td></tr><tr><td>作業療法士</td><td>7名</td><td>4名</td><td>4名</td></tr><tr><td>言語聴覚士</td><td>5名</td><td>3名</td><td>3名</td></tr><tr><td>管理栄養士</td><td>7名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>歯科衛生士</td><td>7名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>社会福祉士</td><td>8名</td><td>1名</td><td>1名</td></tr><tr><td>計</td><td>139名</td><td>79名</td><td>77名</td></tr></table> ※事務職除く	職 種	受験者数	内定者数	令和8年4月入職数	初期臨床研修医	31名	13名	12名	研修歯科医	4名	2名	2名	看護師	47名	40名	39名	薬剤師	4名	2名	2名	臨床検査技師	3名	2名	2名	臨床工学技士	2名	2名	2名	臨床放射線技師	3名	1名	1名	理学療法士	11名	5名	5名	作業療法士	7名	4名	4名	言語聴覚士	5名	3名	3名	管理栄養士	7名	2名	2名	歯科衛生士	7名	2名	2名	社会福祉士	8名	1名	1名	計	139名	79名	77名	S			S																																			
職 種	受験者数	内定者数	令和8年4月入職数																																																																																																		
初期臨床研修医	31名	13名	12名																																																																																																		
研修歯科医	4名	2名	2名																																																																																																		
看護師	47名	40名	39名																																																																																																		
薬剤師	4名	2名	2名																																																																																																		
臨床検査技師	3名	2名	2名																																																																																																		
臨床工学技士	2名	2名	2名																																																																																																		
臨床放射線技師	3名	1名	1名																																																																																																		
理学療法士	11名	5名	5名																																																																																																		
作業療法士	7名	4名	4名																																																																																																		
言語聴覚士	5名	3名	3名																																																																																																		
管理栄養士	7名	2名	2名																																																																																																		
歯科衛生士	7名	2名	2名																																																																																																		
社会福祉士	8名	1名	1名																																																																																																		
計	139名	79名	77名																																																																																																		
② 医師の働き方改革に対応するため、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。	② 医師の働き方改革に対応するため、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。	・看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するため、特定行為関係の統括を行う看護師を配置し強化を図っている。 【実績】特定行為実施件数（日本海総合病院） <table><tr><th>特定行為</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>侵襲的陽圧換気の設定の変更</td><td>123件</td><td>110件</td><td>116件</td><td>178件</td></tr><tr><td>人工呼吸器からの離脱</td><td>6件</td><td>—</td><td>—</td><td>38件</td></tr><tr><td>気管カニューレの交換</td><td>—</td><td>—</td><td>6件</td><td>8件</td></tr><tr><td>胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換</td><td>7件</td><td>24件</td><td>40件</td><td>38件</td></tr><tr><td>膀胱ろうカテーテルの交換</td><td>—</td><td>3件</td><td>1件</td><td>3件</td></tr><tr><td>持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整</td><td>1件</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>抹消留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>5件</td></tr><tr><td>持続点滴中の降圧剤の投与量の調整</td><td>2件</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整</td><td>—</td><td>—</td><td>1件</td><td>—</td></tr><tr><td>インスリン投与量の調整</td><td>—</td><td>3件</td><td>3件</td><td>—</td></tr><tr><td>褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去</td><td>—</td><td>—</td><td>10件</td><td>17件</td></tr><tr><td>創傷に対する陰圧閉鎖療法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1件</td></tr><tr><td>創部ドレンの抜去</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>直接動脈血穿刺または直接動脈穿刺法による採血</td><td>—</td><td>37件</td><td>66件</td><td>110件</td></tr><tr><td>脱水症状に対する輸液による補正</td><td>4件</td><td>2件</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>橈骨動脈ラインの確保</td><td>85件</td><td>136件</td><td>172件</td><td>233件</td></tr><tr><td>気管チューブの位置調整</td><td>—</td><td>—</td><td>7件</td><td>16件</td></tr><tr><td>合計</td><td>228件</td><td>315件</td><td>422件</td><td>647件</td></tr></table>	特定行為	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	侵襲的陽圧換気の設定の変更	123件	110件	116件	178件	人工呼吸器からの離脱	6件	—	—	38件	気管カニューレの交換	—	—	6件	8件	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	7件	24件	40件	38件	膀胱ろうカテーテルの交換	—	3件	1件	3件	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	1件	—	—	—	抹消留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	—	—	—	5件	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	2件	—	—	—	持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整	—	—	1件	—	インスリン投与量の調整	—	3件	3件	—	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	—	—	10件	17件	創傷に対する陰圧閉鎖療法	—	—	—	1件	創部ドレンの抜去	—	—	—	—	直接動脈血穿刺または直接動脈穿刺法による採血	—	37件	66件	110件	脱水症状に対する輸液による補正	4件	2件	—	—	橈骨動脈ラインの確保	85件	136件	172件	233件	気管チューブの位置調整	—	—	7件	16件	合計	228件	315件	422件	647件				
特定行為	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																	
侵襲的陽圧換気の設定の変更	123件	110件	116件	178件																																																																																																	
人工呼吸器からの離脱	6件	—	—	38件																																																																																																	
気管カニューレの交換	—	—	6件	8件																																																																																																	
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	7件	24件	40件	38件																																																																																																	
膀胱ろうカテーテルの交換	—	3件	1件	3件																																																																																																	
持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	1件	—	—	—																																																																																																	
抹消留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	—	—	—	5件																																																																																																	
持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	2件	—	—	—																																																																																																	
持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整	—	—	1件	—																																																																																																	
インスリン投与量の調整	—	3件	3件	—																																																																																																	
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	—	—	10件	17件																																																																																																	
創傷に対する陰圧閉鎖療法	—	—	—	1件																																																																																																	
創部ドレンの抜去	—	—	—	—																																																																																																	
直接動脈血穿刺または直接動脈穿刺法による採血	—	37件	66件	110件																																																																																																	
脱水症状に対する輸液による補正	4件	2件	—	—																																																																																																	
橈骨動脈ラインの確保	85件	136件	172件	233件																																																																																																	
気管チューブの位置調整	—	—	7件	16件																																																																																																	
合計	228件	315件	422件	647件																																																																																																	
③ 初期臨床研修医及び専攻医（専門分野の研修医）を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>初期臨床研修医マッチング</td><td>毎年度フルマッチ</td></tr></table> (注)フルマッチとは、募集定員に対する充足率が100％であることをいう。	目標とする指標	目標値	初期臨床研修医マッチング	毎年度フルマッチ	③ 初期臨床研修医及び専攻医（専門分野の研修医）を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>初期臨床研修医マッチング</td><td>フルマッチ</td></tr></table> (注)フルマッチとは、募集定員に対する充足率が100％であることをいう。	目標とする指標	目標値	初期臨床研修医マッチング	フルマッチ	・新専門医制度の下で、基幹施設として研修実施可能な4診療科（内科、外科、産婦人科、麻酔科）及び連携施設（内科、外科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、放射線科、病理診断科）において、多くの専攻医を受け入れ、医師確保に努めた。 【実績】マッチング状況 <table><tr><th>区分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>定員</td><td>13名</td><td>13名</td><td>13名</td><td>13名</td></tr><tr><td>充足率</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr></table> 【実績】臨床研修医及び専攻医（レジデント）受入れ人数 <table><tr><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>67名</td><td>73名</td><td>74名</td><td>73名</td></tr></table> ・目標である初期臨床研修医マッチングについて、目標値どおり実施することができた。 【実績】初期臨床研修医マッチング（日本海総合病院） <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>フルマッチ</td><td>フルマッチ</td><td>○</td><td>フルマッチ</td><td>○</td></tr></table>	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	定員	13名	13名	13名	13名	充足率	100%	100%	100%	100%	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	67名	73名	74名	73名	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	フルマッチ	フルマッチ	○	フルマッチ	○																																																										
目標とする指標	目標値																																																																																																				
初期臨床研修医マッチング	毎年度フルマッチ																																																																																																				
目標とする指標	目標値																																																																																																				
初期臨床研修医マッチング	フルマッチ																																																																																																				
区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																	
定員	13名	13名	13名	13名																																																																																																	
充足率	100%	100%	100%	100%																																																																																																	
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																		
67名	73名	74名	73名																																																																																																		
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																	
フルマッチ	フルマッチ	○	フルマッチ	○																																																																																																	
④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実等に努め、各職種の専門性の向上を図る。また、若手医師のスキルアップを図るため、指導医の確保等に努める。	④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実等に努め、各職種の専門性の向上を図る。また、若手医師のスキルアップを図るため、指導医の確保等に努める。	・教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研修のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図るため、外部講師による役職別研修や各部門独自で専門能力を高める研修をした。																																																																																																			

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																														
⑤ 看護師や助産師の確保・育成のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	⑤ 薬剤師や看護師、助産師の確保・育成のため、修学資金貸与制度を継続して実施する。	・看護師・助産師を育成・確保するため、修学資金貸与を継続して行った。 ・薬剤師を育成・確保するため、薬剤師修学資金貸与を新たに実施した。 【実績】看護師等・薬剤師修学資金の貸与 <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th colspan="2">令和7年度</th></tr><tr><th rowspan="2">貸与</th><th>貸与者</th><td>14名</td><td>14名</td><td>12名</td><td>11名</td><td>4名</td></tr><tr><td>うち新規貸与決定者</td><td>4名</td><td>4名</td><td>5名</td><td>4名</td><td>4名</td></tr><tr><th rowspan="2">終了</th><th>貸与終了者（A）</th><td>5名</td><td>4名</td><td>5名</td><td>3名</td><td>2名</td></tr><tr><td>うち法人就職者（B）</td><td>4名</td><td>3名</td><td>5名</td><td>3名</td><td>2名</td></tr><tr><td colspan="2">入職率（B/A）</td><td>80%</td><td>75%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr></table>	区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		貸与	貸与者	14名	14名	12名	11名	4名	うち新規貸与決定者	4名	4名	5名	4名	4名	終了	貸与終了者（A）	5名	4名	5名	3名	2名	うち法人就職者（B）	4名	3名	5名	3名	2名	入職率（B/A）		80%	75%	100%	100%	100%	A			A						
区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																															
貸与	貸与者	14名	14名	12名	11名	4名																																														
	うち新規貸与決定者	4名	4名	5名	4名	4名																																														
終了	貸与終了者（A）	5名	4名	5名	3名	2名																																														
	うち法人就職者（B）	4名	3名	5名	3名	2名																																														
入職率（B/A）		80%	75%	100%	100%	100%																																														
⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師資格及び認定看護師資格の新規取得のほか、看護師の特定行為研修修了者の増加を目指す。	⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師資格及び認定看護師資格の新規取得のほか、看護師の特定行為研修修了者の増加を目指す。	・看護師の資質向上のため、昨年度に引き続き、特定行為看護師研修者を育成した。また、協力施設において1名が特定行為研修を修了した。 【実績】認定看護師等研修派遣 <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>認定看護師</td><td>2名</td><td>0名</td><td>1名</td><td>0名</td></tr><tr><td>専門看護師</td><td>1名</td><td>1名</td><td>0名</td><td>0名</td></tr><tr><td>特定行為研修</td><td>3名</td><td>2名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr></table> ・目標とする各種看護師資格の取得者数及び特定行為研修修了者数の目標値については、上回ることができた。 【実績】法人全体 <table><tr><th>区 分</th><th>目標値</th><th colspan="2">令和6年度</th><th colspan="2">令和7年度</th><th colspan="2">令和8年度</th><th colspan="2">令和9年度</th></tr><tr><td>各種看護師資格の新規取得者数</td><td>中期計画期間中5名以上</td><td>3名</td><td>○</td><td>2名</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>特定行為研修修了者数</td><td>中期計画期間中4名以上</td><td>2名</td><td>○</td><td>2名</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※年度目安：各種看護師資格新規取得者数1～2名以上、特定行為研修修了者数1名以上	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	認定看護師	2名	0名	1名	0名	専門看護師	1名	1名	0名	0名	特定行為研修	3名	2名	2名	2名	区 分	目標値	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		各種看護師資格の新規取得者数	中期計画期間中5名以上	3名	○	2名	○					特定行為研修修了者数	中期計画期間中4名以上	2名	○	2名	○				
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																
認定看護師	2名	0名	1名	0名																																																
専門看護師	1名	1名	0名	0名																																																
特定行為研修	3名	2名	2名	2名																																																
区 分	目標値	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度																																												
各種看護師資格の新規取得者数	中期計画期間中5名以上	3名	○	2名	○																																															
特定行為研修修了者数	中期計画期間中4名以上	2名	○	2名	○																																															
イ 事務職員の確保と専門性の向上																																																				
事務局体制強化のため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	事務局体制強化のため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	・事務職員の専門性向上のため、事務職員資格取得支援制度を活用し、診療情報管理士に令和2年度から令和7年度までに7名が合格し、令和7年度は新たに1名が受講を開始した。さらに、研修会受講や学会参加等の奨励及び支援を行い、専門性と資質の向上に努めた。 ・医師事務作業補助者、診療アシスタント、診療情報管理士のキャリアパスを策定し、専門職としての資質向上ができる仕組みを構築している。		A				A																																												

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																				
ウ 職員の勤務環境の改善																																										
① 医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、タスクシフト・タスクシェアの推進、柔軟な勤務形態の導入・活用等を図る。 【目標】法人全体 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標</td></tr><tr><td>医師の時間外労働規制</td><td>毎年度A水準</td></tr></table>	目標とする指標	目標	医師の時間外労働規制	毎年度A水準	① 医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、タスクシフト・タスクシェアの推進、柔軟な勤務形態の導入・活用等を図る。 【目標】法人全体 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標</td></tr><tr><td>医師の時間外労働規制</td><td>A水準</td></tr></table>	目標とする指標	目標	医師の時間外労働規制	A水準	・看護師の特定行為研修修了者や医師事務作業補助者等を配置することで、タスクシフト・タスクシェアの推進を図り、医師の負担軽減に努めた。また、医師短時間正職員制度の活用を推進し、柔軟な勤務形態の環境整備に努めた。 ・目標とする医師の時間外労働規制については、目標値どおり実施することができた。 【実績】医師の時間外労働規制（日本海総合病院） <table><tr><td>目標値</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>A水準</td><td>A水準</td><td>○</td><td>A水準</td><td>○</td></tr></table>	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A水準	A水準	○	A水準	○	A			A																		
目標とする指標	目標																																									
医師の時間外労働規制	毎年度A水準																																									
目標とする指標	目標																																									
医師の時間外労働規制	A水準																																									
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																						
A水準	A水準	○	A水準	○																																						
② 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。	② 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。	・職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう定期健康診断を実施した。 ・ストレスチェックに加え、長時間労働者延べ62名に産業医面談を実施し職員の健康維持に努めた。 ・防犯研修会を実施し、カスタマーハラスメント対策の充実を図った。 【実績】ストレスチェックの受診状況（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>受診率</td><td>89.5%</td><td>79.0%</td><td>79.4%</td><td>81.4%</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	受診率	89.5%	79.0%	79.4%	81.4%																														
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																						
受診率	89.5%	79.0%	79.4%	81.4%																																						
③ 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続等、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。	③ 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続等、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。	・介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続等、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努めた。 【実績】医師短時間職員制度等利用状況 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>医師短時間</td><td>3名</td><td>2名</td><td>3名</td><td>2名</td></tr><tr><td>育児部分休業</td><td>1名</td><td>2名</td><td>4名</td><td>4名</td></tr><tr><td>育児短時間勤務</td><td>1名</td><td>1名</td><td>0名</td><td>2名</td></tr><tr><td>育児時間</td><td>40名</td><td>52名</td><td>71名</td><td>64名</td></tr><tr><td>ベビーシッター等助成金</td><td>0名</td><td>0名</td><td>1名</td><td>0名</td></tr><tr><td>ハウスクリーニング等助成金</td><td>2名</td><td>2名</td><td>2名</td><td>3名</td></tr><tr><td>屋外清掃作業助成金</td><td>0名</td><td>1名</td><td>1名</td><td>2名</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	医師短時間	3名	2名	3名	2名	育児部分休業	1名	2名	4名	4名	育児短時間勤務	1名	1名	0名	2名	育児時間	40名	52名	71名	64名	ベビーシッター等助成金	0名	0名	1名	0名	ハウスクリーニング等助成金	2名	2名	2名	3名	屋外清掃作業助成金	0名	1名	1名	2名
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																						
医師短時間	3名	2名	3名	2名																																						
育児部分休業	1名	2名	4名	4名																																						
育児短時間勤務	1名	1名	0名	2名																																						
育児時間	40名	52名	71名	64名																																						
ベビーシッター等助成金	0名	0名	1名	0名																																						
ハウスクリーニング等助成金	2名	2名	2名	3名																																						
屋外清掃作業助成金	0名	1名	1名	2名																																						
④ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。	④ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。	・病棟、外来及び文書作成に医師事務作業補助者を配置し、医師をはじめとする各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努めた。また、外来看護師の負担軽減のため、業務の再整理と役割分担の明確化を行うことで外来業務の円滑化を図った。 【実績】医師事務作業補助者配置数 <table><tr><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>76名</td><td>79名</td><td>79名</td><td>78名</td></tr></table>	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	76名	79名	79名	78名																																
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																							
76名	79名	79名	78名																																							

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																												
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																										
(3)医療サービスの効果的な提供																																																
ア 地域連携の推進																																																
① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラの推進、参加法人間の人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護・福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。 さらに、医師派遣、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用等により、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。	① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラの推進、参加法人間の人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護・福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。	・地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。 ・県内外の医療機関へ医師32名を派遣し、広域的な医療連携の推進に努めた。 ・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、山形県全域および秋田県との地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携、「あきたハートフルネット」との診療情報の相互連携を継続的に行った。全国的な取り組みである全国ID-LinkEHRIに参加し、参加している国内の医療機関と連携できる基盤の構築を継続的に行った。 【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数 <table><tr><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>48件</td><td>55件</td><td>88件</td><td>23件</td></tr></table> ※令和2年度から運用開始 【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数（コンテンツ別） <table><tr><th>コンテンツ</th><th>令和4～7年度 合計</th></tr><tr><td>処方（指示）</td><td>4件</td></tr><tr><td>注射（指示）</td><td>3件</td></tr><tr><td>検査</td><td>16件</td></tr><tr><td>画像（指示）</td><td>49件</td></tr><tr><td>レポート</td><td>13件</td></tr><tr><td>画像一覧（画像の参照）</td><td>107件</td></tr><tr><td>ノート（記録）</td><td>21件</td></tr></table>	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	48件	55件	88件	23件	コンテンツ	令和4～7年度 合計	処方（指示）	4件	注射（指示）	3件	検査	16件	画像（指示）	49件	レポート	13件	画像一覧（画像の参照）	107件	ノート（記録）	21件	S			S																		
	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度																																											
48件	55件	88件	23件																																													
コンテンツ	令和4～7年度 合計																																															
処方（指示）	4件																																															
注射（指示）	3件																																															
検査	16件																																															
画像（指示）	49件																																															
レポート	13件																																															
画像一覧（画像の参照）	107件																																															
ノート（記録）	21件																																															
② 医師派遣、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用等により、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。																																																
② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用等により、かかりつけ医への紹介等連携を図る。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>紹介率</td><td>毎年度65％以上</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>毎年度95％以上</td></tr></table> (注) 紹介率=(紹介患者数／(初診患者数－救急患者数))×100 (注) 逆紹介率=(逆紹介患者数／初診患者数)×100	目標とする指標	目標値	紹介率	毎年度65％以上	逆紹介率	毎年度95％以上	③ 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用等により、かかりつけ医への紹介等連携を図る。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>紹介率</td><td>65％以上</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>95％以上</td></tr></table> (注) 紹介率=(紹介患者数／(初診患者数－救急患者数))×100 (注) 逆紹介率=(逆紹介患者数／初診患者数)×100	目標とする指標	目標値	紹介率	65％以上	逆紹介率	95％以上	・地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度を活用し、医療福祉センターの逆紹介サポート窓口において、社会福祉士が患者と面談し逆紹介について相談できる体制を構築するなど、かかりつけ医への紹介等連携を図った。 【実績】紹介率、逆紹介率（日本海総合病院） <table><tr><th>区分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>紹介率</td><td>67.8%</td><td>70.9%</td><td>70.3%</td><td>69.0%</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>97.0%</td><td>98.2%</td><td>99.2%</td><td>95.4%</td></tr></table> ・目標とする紹介率及び逆紹介率の目標値については、上回ることができた。 【実績】紹介率、逆紹介率（日本海総合病院） <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>紹介率</td><td>70.3%</td><td>○</td><td>69.0%</td><td>○</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>99.2%</td><td>○</td><td>95.4%</td><td>○</td></tr></table>	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	紹介率	67.8%	70.9%	70.3%	69.0%	逆紹介率	97.0%	98.2%	99.2%	95.4%	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	紹介率	70.3%	○	69.0%	○	逆紹介率	99.2%	○	95.4%	○	A			A
	目標とする指標	目標値																																														
紹介率	毎年度65％以上																																															
逆紹介率	毎年度95％以上																																															
目標とする指標	目標値																																															
紹介率	65％以上																																															
逆紹介率	95％以上																																															
区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																												
紹介率	67.8%	70.9%	70.3%	69.0%																																												
逆紹介率	97.0%	98.2%	99.2%	95.4%																																												
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																												
紹介率	70.3%	○	69.0%	○																																												
逆紹介率	99.2%	○	95.4%	○																																												

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																															
イ 診療情報の共有化、地域クリティカルパスの活用																																					
① 地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	① 地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	・地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化の推進を図ったことから、前年度と比べ登録患者が5,625名増加した。 【実績】登録患者数等 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>登録患者数</td><td>60,650名</td><td>66,457名</td><td>72,460名</td><td>78,085名</td></tr><tr><td>開示施設数</td><td>8施設</td><td>8施設</td><td>6施設</td><td>5施設</td></tr><tr><td>閲覧施設数</td><td>249施設</td><td>264施設</td><td>268施設</td><td>276施設</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	登録患者数	60,650名	66,457名	72,460名	78,085名	開示施設数	8施設	8施設	6施設	5施設	閲覧施設数	249施設	264施設	268施設	276施設	A			A											
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																	
登録患者数	60,650名	66,457名	72,460名	78,085名																																	
開示施設数	8施設	8施設	6施設	5施設																																	
閲覧施設数	249施設	264施設	268施設	276施設																																	
② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	・効率的で適切な医療を提供するため、患者への負担軽減及び他の医療機関との機能分担を図りながら、地域連携クリティカルパスを継続して活用した。 ・地域連携クリティカルパスの運用により、他の医療・介護福祉機関と連携し支援を行った。 【実績】地域連携クリティカルパス適用件数（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>大腸がん</td><td>11件</td><td>1件</td><td>16件</td><td>10件</td></tr><tr><td>乳がん</td><td>8件</td><td>9件</td><td>1件</td><td>6件</td></tr><tr><td>胃がん</td><td>9件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>3件</td></tr><tr><td>大腿骨近位部骨折</td><td>88件</td><td>99件</td><td>100件</td><td>109件</td></tr><tr><td>脳卒中</td><td>165件</td><td>172件</td><td>168件</td><td>172件</td></tr><tr><td>前立腺がん</td><td>0件</td><td>2件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	大腸がん	11件	1件	16件	10件	乳がん	8件	9件	1件	6件	胃がん	9件	0件	0件	3件	大腿骨近位部骨折	88件	99件	100件	109件	脳卒中	165件	172件	168件	172件	前立腺がん	0件	2件	0件	0件
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																	
大腸がん	11件	1件	16件	10件																																	
乳がん	8件	9件	1件	6件																																	
胃がん	9件	0件	0件	3件																																	
大腿骨近位部骨折	88件	99件	100件	109件																																	
脳卒中	165件	172件	168件	172件																																	
前立腺がん	0件	2件	0件	0件																																	
ウ 医療DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進																																					
マイナンバーカードの健康保険証、電子処方箋及び医療Maasをはじめとする遠隔診療等の利活用を促進するとともに、医療DXの推進により医療の質の向上、患者の利便性向上、働き方改革の推進等の取組を行っていく。 また、ICTを活用した医療・介護・福祉連携の推進を図る。	① 電子処方箋及び電子カルテ情報共有サービス等の医療DXを促進することで患者の利便性向上や医療安全の向上を図りつつ、これらの取り組みを普及拡大し、医療データの利活用を推進する。	・マイナ保険証の利用促進のため、全ての再来受付機を顔認証付きカードリーダーと連携し、マイナ受付と同時に再来受付が行えるように改修した。 ・医師のHPKIカード取得の推進を図り、電子処方箋の利用を促進することで地域の医療安全向上に努めた。 ・電子カルテ情報共有サービスモデル事業に参加し、2文書6情報の提供および他医療機関からの情報取得ができるようシステムを改修した。 【実績】マイナ保険証利用件数等 <table><tr><td>区 分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>マイナ保険証利用件数</td><td>6,227件</td><td>92,262件</td><td>195,375件</td></tr><tr><td>マイナ保険証最高利用率</td><td>9.4%</td><td>50.3%</td><td>86.1%</td></tr><tr><td>電子処方箋発行枚数</td><td>48,858件</td><td>69,656件</td><td>81,093件</td></tr></table>	区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	マイナ保険証利用件数	6,227件	92,262件	195,375件	マイナ保険証最高利用率	9.4%	50.3%	86.1%	電子処方箋発行枚数	48,858件	69,656件	81,093件	S			A															
区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																		
マイナ保険証利用件数	6,227件	92,262件	195,375件																																		
マイナ保険証最高利用率	9.4%	50.3%	86.1%																																		
電子処方箋発行枚数	48,858件	69,656件	81,093件																																		
	② 医療・介護・福祉連携の推進を図るため、酒田市と協働し、ICTを利用した地域包括ケアシステムの構築を進める。	・医療・介護・福祉連携の推進を図るため、酒田市と協働して、医療・介護情報共有サービス「Team」を導入し、酒田市の医療機関・介護施設など161施設が参加した。 【実績】「Team」参加施設数 <table><tr><td>診療所</td><td>23施設</td><td>訪問介護（ヘルパー）</td><td>8施設</td><td>グループホーム</td><td>10施設</td></tr><tr><td>病院</td><td>8施設</td><td>訪問リハビリ</td><td>2施設</td><td>特別養護老人ホーム</td><td>9施設</td></tr><tr><td>居宅介護支援</td><td>26施設</td><td>デイサービス・デイケア</td><td>18施設</td><td>介護老人保健施設</td><td>5施設</td></tr><tr><td>地域包括支援センター</td><td>10施設</td><td>ショートステイ</td><td>7施設</td><td>その他</td><td>18施設</td></tr><tr><td>訪問看護</td><td>12施設</td><td>小規模多機能型居宅介護</td><td>6施設</td><td>計</td><td>161施設</td></tr></table>	診療所	23施設	訪問介護（ヘルパー）	8施設	グループホーム	10施設	病院	8施設	訪問リハビリ	2施設	特別養護老人ホーム	9施設	居宅介護支援	26施設	デイサービス・デイケア	18施設	介護老人保健施設	5施設	地域包括支援センター	10施設	ショートステイ	7施設	その他	18施設	訪問看護	12施設	小規模多機能型居宅介護	6施設	計	161施設					
診療所	23施設	訪問介護（ヘルパー）	8施設	グループホーム	10施設																																
病院	8施設	訪問リハビリ	2施設	特別養護老人ホーム	9施設																																
居宅介護支援	26施設	デイサービス・デイケア	18施設	介護老人保健施設	5施設																																
地域包括支援センター	10施設	ショートステイ	7施設	その他	18施設																																
訪問看護	12施設	小規模多機能型居宅介護	6施設	計	161施設																																

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																														
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																												
(4)教育研修事業の充実																																																																		
ア 庄内地域における医療水準の向上																																																																		
庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。さらに、救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	① 庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。	・臨床研修医及び専攻医の受入れ並びに山形大学からのスチューデントドクター及び東北大学や自治医科大学からの地域医療実習生を継続して受入れ、質の高い医療従事者の育成に努めた。 【実績】臨床研修医等の受入れ状況（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>臨床研修医</td><td>28名</td><td>28名</td><td>27名</td><td>29名</td></tr><tr><td>専攻医</td><td>39名</td><td>45名</td><td>47名</td><td>45名</td></tr><tr><td>スチューデントドクター（山形大学）</td><td>66名</td><td>64名</td><td>65名</td><td>59名</td></tr><tr><td>高次臨床修練生（東北大学）</td><td>2名</td><td>1名</td><td>2名</td><td>－</td></tr><tr><td>都道府県拠点病院実習（自治医科大学）</td><td>－</td><td>1名</td><td>1名</td><td>1名</td></tr></table> ・酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師の育成や、薬学生をはじめ、その他の職種の学生についても実習の受入れを行い、質の高い医療従事者の育成に努めた。 【実績】酒田看護専門学校実習実績（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>実習学生数</td><td>77名</td><td>82名</td><td>79名</td><td>84名</td></tr></table> 【実績】酒田看護専門学校実習実績（日本海酒田リハビリテーション病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>実習学生数</td><td>－</td><td>6名</td><td>8名</td><td>8名</td></tr></table> 【実績】薬学生実務実習実績（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>実習学生数</td><td>3名</td><td>3名</td><td>5名</td><td>1名</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	臨床研修医	28名	28名	27名	29名	専攻医	39名	45名	47名	45名	スチューデントドクター（山形大学）	66名	64名	65名	59名	高次臨床修練生（東北大学）	2名	1名	2名	－	都道府県拠点病院実習（自治医科大学）	－	1名	1名	1名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実習学生数	77名	82名	79名	84名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実習学生数	－	6名	8名	8名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実習学生数	3名	3名	5名	1名	A			A
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																														
臨床研修医	28名	28名	27名	29名																																																														
専攻医	39名	45名	47名	45名																																																														
スチューデントドクター（山形大学）	66名	64名	65名	59名																																																														
高次臨床修練生（東北大学）	2名	1名	2名	－																																																														
都道府県拠点病院実習（自治医科大学）	－	1名	1名	1名																																																														
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																														
実習学生数	77名	82名	79名	84名																																																														
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																														
実習学生数	－	6名	8名	8名																																																														
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																														
実習学生数	3名	3名	5名	1名																																																														
	② 救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	・救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士養成課程の就業前研修、再教育実習、山形県消防学校救急科の病院実習を実施し、計40名の実習生の受入れを行った。 【実績】実習生受入人数（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>就業前研修</td><td>2名</td><td>1名</td><td>2名</td><td>4名</td></tr><tr><td>再教育実習</td><td>30名</td><td>31名</td><td>31名</td><td>31名</td></tr><tr><td>病院実習</td><td>4名</td><td>3名</td><td>4名</td><td>5名</td></tr><tr><td>計</td><td>36名</td><td>35名</td><td>37名</td><td>40名</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	就業前研修	2名	1名	2名	4名	再教育実習	30名	31名	31名	31名	病院実習	4名	3名	4名	5名	計	36名	35名	37名	40名																																							
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																														
就業前研修	2名	1名	2名	4名																																																														
再教育実習	30名	31名	31名	31名																																																														
病院実習	4名	3名	4名	5名																																																														
計	36名	35名	37名	40名																																																														

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																														
イ 住民意識の啓発活動																																				
住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や、ウェブサイト及び広報誌「あきほ」等の活用により、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報や医療等に関する情報を分かりやすく提供する。	① 住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し、啓発活動や地域住民を対象としたセミナーの実施に努める。	・臓器移植普及推進や受動喫煙防止のための各種ライトアップ運動に参加し、地域住民に向けた啓発活動を行った。 ・地域住民を対象に市民公開講座を開催し、がんに関する情報提供を行った。 【実績】がん診療連携拠点病院公開講座（開催場所：ホテルリッチ＆ガーデン酒田） <table><tr><th>開催日</th><th>内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和7年8月24日</td><td>「健康寿命を延伸する最高の腸活」 一般財団法人辨野腸内フローラ研究所 理事長 辨野 義己 氏</td><td>244名</td></tr></table>	開催日	内容等	参加人数	令和7年8月24日	「健康寿命を延伸する最高の腸活」 一般財団法人辨野腸内フローラ研究所 理事長 辨野 義己 氏	244名	A			B																								
	開催日	内容等	参加人数																																	
令和7年8月24日	「健康寿命を延伸する最高の腸活」 一般財団法人辨野腸内フローラ研究所 理事長 辨野 義己 氏	244名																																		
② ウェブサイト及び広報誌「あきほ」等を活用し、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報や医療等に関する情報を分かりやすく提供する。 【目標】法人全体 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>病院広報誌発行回数</td><td>毎年度4回</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	病院広報誌発行回数	毎年度4回	・それぞれの病院や診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供するため、ホームページでの病院情報の発信や病院広報誌「あきほ」の発行により、地域住民に分かりやすく、かつ幅広い情報発信を行った。 ・4月に運用を開始した生殖医療センターについて、受診を希望する方が安心して受診出来るようホームページを開設した。 【実績】病院広報誌発行回数 <table><tr><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>4回</td><td>4回</td><td>4回</td><td>4回</td></tr></table> ・目標とする病院広報誌発行回数については、目標値どおり発行することができた。 【実績】病院広報誌発行回数 <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>4回以上</td><td>4回</td><td>○</td><td>4回</td><td>○</td></tr></table>	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	4回	4回	4回	4回	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	4回以上	4回	○	4回	○													
目標とする指標	目標値																																			
病院広報誌発行回数	毎年度4回																																			
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																	
4回	4回	4回	4回																																	
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																
4回以上	4回	○	4回	○																																
3 患者・住民の満足度の向上																																				
患者満足度調査等を実施し、院内環境等の快適性の向上、患者サービス向上に向けた取組を行う。	患者満足度調査等を実施し、院内環境等の快適性の向上、患者サービス向上に向けた取組を行う。	・患者サービス向上に向け、患者アンケートを実施し患者の声を適切に把握するとともに、患者サービス向上の一助とするため、職員満足度調査を実施した。そのほかにも、外来待ち時間調査の実施や、医療接遇オンラインセミナーを実施し、接遇について知識を深めた。 【実績】患者満足度（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>入院患者満足度</td><td>94.9%</td><td>89.6%</td><td>98.9%</td><td>98.5%</td></tr><tr><td>外来患者満足度</td><td>90.6%</td><td>91.7%</td><td>95.7%</td><td>95.4%</td></tr></table> ・目標とする患者満足度については、入院患者満足度のみ目標値を上回ることができた。 【実績】患者満足度（日本海総合病院） <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>入院患者満足度</td><td>98.9%</td><td>○</td><td>98.5%</td><td>○</td></tr><tr><td>外来患者満足度</td><td>95.7%</td><td>×</td><td>95.4%</td><td>×</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入院患者満足度	94.9%	89.6%	98.9%	98.5%	外来患者満足度	90.6%	91.7%	95.7%	95.4%	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	入院患者満足度	98.9%	○	98.5%	○	外来患者満足度	95.7%	×	95.4%	×	B			B
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																
入院患者満足度	94.9%	89.6%	98.9%	98.5%																																
外来患者満足度	90.6%	91.7%	95.7%	95.4%																																
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																
入院患者満足度	98.9%	○	98.5%	○																																
外来患者満足度	95.7%	×	95.4%	×																																
【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>入院患者満足度</td><td>毎年度96%以上</td></tr><tr><td>外来患者満足度</td><td>毎年度96%以上</td></tr></table> (注)入院患者満足度=(満足のいく治療を受けたと回答した入院患者数(満足＋ほぼ満足)／患者満足度の有効回答数(入院))×100 (注)外来患者満足度=(満足のいく治療を受けたと回答した外来患者数(満足＋ほぼ満足)／患者満足度の有効回答数(外来))×100	目標とする指標	目標値	入院患者満足度	毎年度96%以上	外来患者満足度	毎年度96%以上	【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>入院患者満足度</td><td>96%以上</td></tr><tr><td>外来患者満足度</td><td>96%以上</td></tr></table> (注)入院患者満足度=(満足のいく治療を受けたと回答した入院患者数(満足＋ほぼ満足)／患者満足度の有効回答数(入院))×100 (注)外来患者満足度=(満足のいく治療を受けたと回答した外来患者数(満足＋ほぼ満足)／患者満足度の有効回答数(外来))×100	目標とする指標	目標値	入院患者満足度	96%以上	外来患者満足度	96%以上																							
目標とする指標	目標値																																			
入院患者満足度	毎年度96%以上																																			
外来患者満足度	毎年度96%以上																																			
目標とする指標	目標値																																			
入院患者満足度	96%以上																																			
外来患者満足度	96%以上																																			
4 法令等の遵守と情報公開の推進																																				
① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。	① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。	・法令遵守、職務遂行を就業規則に規定し院内イントラネットで常時周知するなど、職員に対して周知徹底に取り組んだ。	B			B																														
② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び法人規程に基づき、また文書管理については、山形県公文書等の管理に関する条例に基づき、それぞれ適切に対応する。	② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び法人規程に基づき、また文書管理については、山形県公文書等の管理に関する条例に基づき、それぞれ適切に対応する。	・インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の情報開示にあたっては、山形県情報公開条例及び山形県個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、県の機関に準じて適切に行った。 ・文書管理については、山形県公文書等の管理に関する条例に基づき、保存・廃棄等適切に対応した。 【実績】診療情報提供申出件数（日本海総合病院） <table><tr><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>43件</td><td>57件</td><td>77件</td><td>89件</td></tr></table>					令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	43件	57件	77件	89件																						
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																	
43件	57件	77件	89件																																	

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																							
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																																					
5 医療安全対策の充実・強化																																																																											
(1)医療事故等の防止																																																																											
住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。	住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。	・住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、診療報酬改定にあわせた研修や医療安全の更なる推進を目的とした研修会を行い、病院全体の医療安全の強化を図った。 ・開催方法については、開催当日の集合研修のほかに、未受講者に対してe-ラーニングによる動画配信を行った。未受講者に対しては、定期的に受講の呼びかけを行い、多くの職員が受講できるよう取り組んだ。 【実績】医療安全研修会(日本海総合病院) <table><tr><th>開催日</th><th>研修内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和7年10月3日</td><td>第1回 医療安全・身体拘束最小化チーム全体研修会 『インシデント報告(転倒転落・チューブ類自己抜去)からの傾向と対策』 講 師 医療安全管理者 富澤 晴美 氏 『身体拘束最小化における多職種カンファレンスの必要性について』 講 師 3階南病棟 看護師長 齋藤 百合 氏</td><td>1,152名</td></tr><tr><td>令和7年12月18日</td><td>第2回 医療安全全体研修会 『当院のインシデント報告の内訳・内容と改善策』 講 師 医療安全管理者 富澤 晴美 氏 『診療情報管理士の視点からの医療安全対策』 講 師 医事課 診療支援係 調整主任 佐藤 悦子 氏</td><td>1,121名</td></tr></table> 【実績】院内感染対策研修会(日本海総合病院) <table><tr><th>開催日</th><th>研修内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和7年8月25日</td><td>第1回院内感染対策研修会 「結核患者の感染対策について」</td><td>1,178名</td></tr><tr><td>令和7年11月17日</td><td>第2回院内感染対策研修会 「薬剤耐性菌の脅威－抗菌薬の適正使用について－」</td><td>1,161名</td></tr></table> 【実績】医療安全研修会(日本海酒田リハビリテーション病院) <table><tr><th>開催日</th><th>研修内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和7年12月11日</td><td>第1回 医療安全研修会 「一次救命の重要性を理解し実践」</td><td>76名</td></tr><tr><td>令和8年3月18日</td><td>第2回 医療安全研修会 「医薬品副作用被害救済制度について」</td><td>121名</td></tr></table> 【実績】院内感染対策研修会(日本海酒田リハビリテーション病院) <table><tr><th>開催日</th><th>研修内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和7年9月10日</td><td>第1回 院内感染対策研修会 「感染対策基本となるもの」 ～全スタッフが行うべき手指衛生のタイミング～</td><td>139名</td></tr><tr><td>令和8年1月14日</td><td>第2回 院内感染対策研修会 「院内感染を起こしやすいウイルスや細菌について」 ～薬剤耐性菌について知ろう～</td><td>137名</td></tr></table> ・医療安全対策に関する他医療機関との相互評価について、下表のとおり実施し、医療機関間で意見を交わし、互いの医療機関での医療安全の更なる向上に繋がられた。 【実績】医療安全地域連携対策加算に伴う他医療機関との相互評価 <table><tr><th>開催日</th><th>評価対象病院</th><th>評価実施病院</th></tr><tr><td>令和7年10月30日</td><td>鶴岡市立荘内病院</td><td>日本海総合病院</td></tr><tr><td>令和7年11月27日</td><td>日本海総合病院</td><td>鶴岡市立荘内病院</td></tr><tr><td>令和8年3月11日</td><td>日本海酒田リハビリテーション病院</td><td>日本海総合病院</td></tr><tr><td>令和8年3月11日</td><td>順仁堂遊佐病院</td><td>日本海総合病院</td></tr></table> ・目標である医療安全対策に係る研修会について、目標値どおり実施することができた。 【実績】医療安全対策に係る研修 <table><tr><th>目標値</th><th>区分</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td rowspan="2">2回以上</td><td>日本海総合病院</td><td>2回</td><td>○</td><td>2回</td><td>○</td></tr><tr><td>酒田リハビリテーション病院</td><td>2回</td><td>○</td><td>2回</td><td>○</td></tr></table>	開催日	研修内容等	参加人数	令和7年10月3日	第1回 医療安全・身体拘束最小化チーム全体研修会 『インシデント報告(転倒転落・チューブ類自己抜去)からの傾向と対策』 講 師 医療安全管理者 富澤 晴美 氏 『身体拘束最小化における多職種カンファレンスの必要性について』 講 師 3階南病棟 看護師長 齋藤 百合 氏	1,152名	令和7年12月18日	第2回 医療安全全体研修会 『当院のインシデント報告の内訳・内容と改善策』 講 師 医療安全管理者 富澤 晴美 氏 『診療情報管理士の視点からの医療安全対策』 講 師 医事課 診療支援係 調整主任 佐藤 悦子 氏	1,121名	開催日	研修内容等	参加人数	令和7年8月25日	第1回院内感染対策研修会 「結核患者の感染対策について」	1,178名	令和7年11月17日	第2回院内感染対策研修会 「薬剤耐性菌の脅威－抗菌薬の適正使用について－」	1,161名	開催日	研修内容等	参加人数	令和7年12月11日	第1回 医療安全研修会 「一次救命の重要性を理解し実践」	76名	令和8年3月18日	第2回 医療安全研修会 「医薬品副作用被害救済制度について」	121名	開催日	研修内容等	参加人数	令和7年9月10日	第1回 院内感染対策研修会 「感染対策基本となるもの」 ～全スタッフが行うべき手指衛生のタイミング～	139名	令和8年1月14日	第2回 院内感染対策研修会 「院内感染を起こしやすいウイルスや細菌について」 ～薬剤耐性菌について知ろう～	137名	開催日	評価対象病院	評価実施病院	令和7年10月30日	鶴岡市立荘内病院	日本海総合病院	令和7年11月27日	日本海総合病院	鶴岡市立荘内病院	令和8年3月11日	日本海酒田リハビリテーション病院	日本海総合病院	令和8年3月11日	順仁堂遊佐病院	日本海総合病院	目標値	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	2回以上	日本海総合病院	2回	○	2回	○	酒田リハビリテーション病院	2回	○	2回	○					B
開催日	研修内容等	参加人数																																																																									
令和7年10月3日	第1回 医療安全・身体拘束最小化チーム全体研修会 『インシデント報告(転倒転落・チューブ類自己抜去)からの傾向と対策』 講 師 医療安全管理者 富澤 晴美 氏 『身体拘束最小化における多職種カンファレンスの必要性について』 講 師 3階南病棟 看護師長 齋藤 百合 氏	1,152名																																																																									
令和7年12月18日	第2回 医療安全全体研修会 『当院のインシデント報告の内訳・内容と改善策』 講 師 医療安全管理者 富澤 晴美 氏 『診療情報管理士の視点からの医療安全対策』 講 師 医事課 診療支援係 調整主任 佐藤 悦子 氏	1,121名																																																																									
開催日	研修内容等	参加人数																																																																									
令和7年8月25日	第1回院内感染対策研修会 「結核患者の感染対策について」	1,178名																																																																									
令和7年11月17日	第2回院内感染対策研修会 「薬剤耐性菌の脅威－抗菌薬の適正使用について－」	1,161名																																																																									
開催日	研修内容等	参加人数																																																																									
令和7年12月11日	第1回 医療安全研修会 「一次救命の重要性を理解し実践」	76名																																																																									
令和8年3月18日	第2回 医療安全研修会 「医薬品副作用被害救済制度について」	121名																																																																									
開催日	研修内容等	参加人数																																																																									
令和7年9月10日	第1回 院内感染対策研修会 「感染対策基本となるもの」 ～全スタッフが行うべき手指衛生のタイミング～	139名																																																																									
令和8年1月14日	第2回 院内感染対策研修会 「院内感染を起こしやすいウイルスや細菌について」 ～薬剤耐性菌について知ろう～	137名																																																																									
開催日	評価対象病院	評価実施病院																																																																									
令和7年10月30日	鶴岡市立荘内病院	日本海総合病院																																																																									
令和7年11月27日	日本海総合病院	鶴岡市立荘内病院																																																																									
令和8年3月11日	日本海酒田リハビリテーション病院	日本海総合病院																																																																									
令和8年3月11日	順仁堂遊佐病院	日本海総合病院																																																																									
目標値	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																						
2回以上	日本海総合病院	2回	○	2回	○																																																																						
	酒田リハビリテーション病院	2回	○	2回	○																																																																						

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																
(2)情報セキュリティ対策の強化																						
厚生労働省が定める医療情報システムの安全管理に関するガイドライン等を踏まえ、職員教育等による適切な情報管理やランサムウェア対策等、情報セキュリティの強化に努める。	厚生労働省が定める医療情報システムの安全管理に関するガイドライン等を踏まえ、職員教育等による適切な情報管理やランサムウェア対策等、情報セキュリティの強化に努める。	・厚生労働省が定める医療情報システムの安全管理に関するガイドライン等を踏まえ、適切な情報管理やランサムウェア対策等、情報セキュリティの強化を図るため、全職員に向けたe-ラーニング研修を実施した。 ・地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」に新規参加する介護事業者及び新たに利用開始するユーザーに対して、対面でのセキュリティ研修会を実施した。	B			B																
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																					
1 組織マネジメントの強化、災害発生時の業務継続性の確保																						
① 運営委員会、診療部運営会議、業務改善委員会、経営戦略会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。 【目標】法人全体 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>内部監査</td><td>毎年度2項目以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	内部監査	毎年度2項目以上	① 運営委員会、診療部運営会議、業務改善委員会、経営戦略会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。 【目標】法人全体 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>内部監査</td><td>2項目以上</td></tr></table> 【実績】内部監査 <table><tr><td>目標値</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>2項目以上</td><td>2項目</td><td>〇</td><td>2項目</td><td>〇</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	内部監査	2項目以上	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	2項目以上	2項目	〇	2項目	〇	A		A
目標とする指標	目標値																					
内部監査	毎年度2項目以上																					
目標とする指標	目標値																					
内部監査	2項目以上																					
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																		
2項目以上	2項目	〇	2項目	〇																		
② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP（業務継続計画）に基づき業務の継続性を確保する。	② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP（業務継続計画）に基づき業務の継続性を確保する。	・災害発生時における業務マネジメント体制を整備するとともに、BCP（業務継続計画）に基づき業務の継続性を確保できるよう、BCPマニュアルおよび災害対策マニュアル等の見直しを行った。																				
	③ 医療情報システム事業継続計画に基づき、万が一、セキュリティインシデントが発生しても速やかに回復できるようマネジメント体制を整備、訓練・演習を実施し、業務の継続性を確保する。	・サイバーインシデント対応についてBCPに沿った机上訓練を実施し、課題が見つかった箇所についてBCPの改訂を行い、業務の継続性の確保に努めた。 ・オフラインバックアップシステムを更新し、仮想基盤サーバ上の全てのサーバについて7世代分のイメージバックアップを開始した。																				
2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用																						
地域の医療ニーズ等に迅速かつ的確に対応するため、診療体制の適正化を図るとともに、適切かつ弾力的な医療従事者の配置により、効率的な業務運営に努める。	地域の医療ニーズ等に迅速かつ的確に対応するため、診療体制の適正化を図るとともに、適切かつ弾力的な医療従事者の配置により、効率的な業務運営に努める。	・医療需要の変化に迅速かつ的確に対応するため、定期的な人事異動により適材適所の配置に努めるとともに、診療体制の適正化を図った。 ・医師短時間正職員制度を利用することで、医師がキャリアを中断することなく安心して意欲的に勤務できるよう努めるとともに、時差出勤制度を導入し多様な勤務形態の活用を図った。 ・入退院支援センターでは多職種が協力し、効率的な業務運営を行った。	B			B																
3 業務の効率化、職員の意欲向上																						
① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努める。また、各業務においては、業務負担軽減に繋がるようタスクシフト・タスクシェアを推進する。	① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努める。また、各業務においては、業務負担軽減に繋がるようタスクシフト・タスクシェアを推進する。	・各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努めた。 ・各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフト・タスクシェアの推進等に努めた。 【実績】業務改善委員会（日本海総合病院） <table><tr><td>区分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>新規提案</td><td>15件</td><td>21件</td><td>34件</td><td>10件</td></tr><tr><td>終了</td><td>19件</td><td>18件</td><td>20件</td><td>7件</td></tr></table>	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	新規提案	15件	21件	34件	10件	終了	19件	18件	20件	7件	A		A		
区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																		
新規提案	15件	21件	34件	10件																		
終了	19件	18件	20件	7件																		
② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	・職員の能力や経験を適切に評価し、昇任に反映させ意欲向上を図るとともに、将来の病院経営を担う人材を育成するため、リーダーシップを発揮できる人材の育成を行った。																				

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																																																																																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																																																																																
第4 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画	第3 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画																																																																																																																																																																																					
効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、各年度における法人全体の経常収支比率、修正営業収支比率及び純資産額の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。 【目標】法人全体 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>毎年度100％以上</td></tr><tr><td>修正営業収支比率</td><td>毎年度95％以上</td></tr><tr><td>純資産額</td><td>毎年度前年度の額以上</td></tr></table> （注）経常収支比率＝（経常収益／経常費用）×100 （注）修正営業収支比率＝（医業収益／営業費用）×100 中期目標を着実に達成するための予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおりに見込むこととする。 また、各年度において的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。	目標とする指標	目標値	経常収支比率	毎年度100％以上	修正営業収支比率	毎年度95％以上	純資産額	毎年度前年度の額以上	効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、法人全体の経常収支比率、修正営業収支比率及び純資産額の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。 【目標】法人全体 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>100％以上</td></tr><tr><td>修正営業収支比率</td><td>95％以上</td></tr><tr><td>純資産額</td><td>前年度の額以上</td></tr></table> （注）経常収支比率＝（経常収益／経常費用）×100 （注）修正営業収支比率＝（医業収益／営業費用）×100 予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおりに見込み、また、的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。	目標とする指標	目標値	経常収支比率	100％以上	修正営業収支比率	95％以上	純資産額	前年度の額以上	・効率的かつ効果的な経営を持続するため、運営委員会や経営戦略会議等において、各職員へ経営状況の情報共有等を図った。 ・適切な資金計画に基づき、法人全体の資金収支の均衡や短期借入金の抑制を図った。 【実績】経常収支比率、営業収支比率（法人全体） <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>106.7%</td><td>102.4%</td><td>99.6%</td><td>97.5%</td></tr><tr><td>修正営業収支比率</td><td>97.0%</td><td>97.3%</td><td>95.6%</td><td>93.2%</td></tr><tr><td>純資産額（単位：百万円）</td><td>29,736</td><td>30,306</td><td>30,186</td><td>29,459</td></tr></table> ・目標である経常収支比率、修正営業収支比率及び純資産額について、目標値には届かなかった。 【実績】経常収支比率、修正営業収支比率（法人全体） <table><tr><th>区 分</th><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>100％以上</td><td>99.6%</td><td>×</td><td>97.5%</td><td>×</td></tr><tr><td>修正営業収支比率</td><td>95％以上</td><td>95.6%</td><td>○</td><td>93.2%</td><td>×</td></tr><tr><td>純資産額（単位：百万円）</td><td>前年度の額以上</td><td>△120</td><td>×</td><td>△727</td><td>×</td></tr></table> 別表 1 予算及び決算 (単位：百万円) <table><tr><th>区分</th><th>予算額 (当 初)</th><th>決算額</th><th>差額 (決算 - 予算)</th></tr><tr><td>収 入</td><td>29,341</td><td>28,881</td><td>△ 460</td></tr><tr><td>営業収益</td><td>26,168</td><td>25,395</td><td>△ 773</td></tr><tr><td>医業収益</td><td>24,691</td><td>23,896</td><td>△ 795</td></tr><tr><td>運営費負担金</td><td>1,477</td><td>1,499</td><td>22</td></tr><tr><td>営業外収益</td><td>198</td><td>530</td><td>332</td></tr><tr><td>運営費負担金等</td><td>34</td><td>35</td><td>1</td></tr><tr><td>その他</td><td>164</td><td>495</td><td>331</td></tr><tr><td>臨時利益</td><td>13</td><td>21</td><td>8</td></tr><tr><td>資本収入</td><td>2,961</td><td>2,934</td><td>△ 27</td></tr><tr><td>運営費負担金等</td><td>478</td><td>478</td><td>0</td></tr><tr><td>長期借入金</td><td>2,482</td><td>2,420</td><td>△ 62</td></tr><tr><td>その他</td><td>1</td><td>36</td><td>35</td></tr></table> (単位：百万円) <table><tr><th>区分</th><th>予算額 (当 初)</th><th>決算額</th><th>差額 (決算 - 予算)</th></tr><tr><td>支 出</td><td>28,924</td><td>28,849</td><td>△ 75</td></tr><tr><td>営業費用</td><td>24,778</td><td>25,010</td><td>232</td></tr><tr><td>医業費用</td><td>24,551</td><td>24,794</td><td>243</td></tr><tr><td>給与費</td><td>11,820</td><td>11,691</td><td>△ 129</td></tr><tr><td>材料費</td><td>8,367</td><td>8,989</td><td>622</td></tr><tr><td>経費</td><td>4,259</td><td>4,028</td><td>△ 231</td></tr><tr><td>研究研修費</td><td>105</td><td>85</td><td>△ 20</td></tr><tr><td>一般管理費</td><td>227</td><td>216</td><td>△ 11</td></tr><tr><td>営業外費用</td><td>101</td><td>92</td><td>△ 9</td></tr><tr><td>臨時損失</td><td>0</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>資本支出</td><td>4,044</td><td>3,743</td><td>△ 301</td></tr><tr><td>建設改良費</td><td>3,074</td><td>2,777</td><td>△ 297</td></tr><tr><td>長期借入金返還金</td><td>955</td><td>955</td><td>0</td></tr><tr><td>奨学金貸付</td><td>14</td><td>11</td><td>△ 3</td></tr><tr><td>その他</td><td>1</td><td>0</td><td>△ 1</td></tr></table> ※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	経常収支比率	106.7%	102.4%	99.6%	97.5%	修正営業収支比率	97.0%	97.3%	95.6%	93.2%	純資産額（単位：百万円）	29,736	30,306	30,186	29,459	区 分	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	経常収支比率	100％以上	99.6%	×	97.5%	×	修正営業収支比率	95％以上	95.6%	○	93.2%	×	純資産額（単位：百万円）	前年度の額以上	△120	×	△727	×	区分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	収 入	29,341	28,881	△ 460	営業収益	26,168	25,395	△ 773	医業収益	24,691	23,896	△ 795	運営費負担金	1,477	1,499	22	営業外収益	198	530	332	運営費負担金等	34	35	1	その他	164	495	331	臨時利益	13	21	8	資本収入	2,961	2,934	△ 27	運営費負担金等	478	478	0	長期借入金	2,482	2,420	△ 62	その他	1	36	35	区分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	支 出	28,924	28,849	△ 75	営業費用	24,778	25,010	232	医業費用	24,551	24,794	243	給与費	11,820	11,691	△ 129	材料費	8,367	8,989	622	経費	4,259	4,028	△ 231	研究研修費	105	85	△ 20	一般管理費	227	216	△ 11	営業外費用	101	92	△ 9	臨時損失	0	5	5	資本支出	4,044	3,743	△ 301	建設改良費	3,074	2,777	△ 297	長期借入金返還金	955	955	0	奨学金貸付	14	11	△ 3	その他	1	0	△ 1	B			B
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																																																					
経常収支比率	毎年度100％以上																																																																																																																																																																																					
修正営業収支比率	毎年度95％以上																																																																																																																																																																																					
純資産額	毎年度前年度の額以上																																																																																																																																																																																					
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																																																					
経常収支比率	100％以上																																																																																																																																																																																					
修正営業収支比率	95％以上																																																																																																																																																																																					
純資産額	前年度の額以上																																																																																																																																																																																					
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																																		
経常収支比率	106.7%	102.4%	99.6%	97.5%																																																																																																																																																																																		
修正営業収支比率	97.0%	97.3%	95.6%	93.2%																																																																																																																																																																																		
純資産額（単位：百万円）	29,736	30,306	30,186	29,459																																																																																																																																																																																		
区 分	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																																																																																																	
経常収支比率	100％以上	99.6%	×	97.5%	×																																																																																																																																																																																	
修正営業収支比率	95％以上	95.6%	○	93.2%	×																																																																																																																																																																																	
純資産額（単位：百万円）	前年度の額以上	△120	×	△727	×																																																																																																																																																																																	
区分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																																																			
収 入	29,341	28,881	△ 460																																																																																																																																																																																			
営業収益	26,168	25,395	△ 773																																																																																																																																																																																			
医業収益	24,691	23,896	△ 795																																																																																																																																																																																			
運営費負担金	1,477	1,499	22																																																																																																																																																																																			
営業外収益	198	530	332																																																																																																																																																																																			
運営費負担金等	34	35	1																																																																																																																																																																																			
その他	164	495	331																																																																																																																																																																																			
臨時利益	13	21	8																																																																																																																																																																																			
資本収入	2,961	2,934	△ 27																																																																																																																																																																																			
運営費負担金等	478	478	0																																																																																																																																																																																			
長期借入金	2,482	2,420	△ 62																																																																																																																																																																																			
その他	1	36	35																																																																																																																																																																																			
区分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																																																			
支 出	28,924	28,849	△ 75																																																																																																																																																																																			
営業費用	24,778	25,010	232																																																																																																																																																																																			
医業費用	24,551	24,794	243																																																																																																																																																																																			
給与費	11,820	11,691	△ 129																																																																																																																																																																																			
材料費	8,367	8,989	622																																																																																																																																																																																			
経費	4,259	4,028	△ 231																																																																																																																																																																																			
研究研修費	105	85	△ 20																																																																																																																																																																																			
一般管理費	227	216	△ 11																																																																																																																																																																																			
営業外費用	101	92	△ 9																																																																																																																																																																																			
臨時損失	0	5	5																																																																																																																																																																																			
資本支出	4,044	3,743	△ 301																																																																																																																																																																																			
建設改良費	3,074	2,777	△ 297																																																																																																																																																																																			
長期借入金返還金	955	955	0																																																																																																																																																																																			
奨学金貸付	14	11	△ 3																																																																																																																																																																																			
その他	1	0	△ 1																																																																																																																																																																																			

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																																
		別表 2 収支計画 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>予算額 (当 初)</th><th>決算額</th><th>差額 (決算 - 予算)</th></tr><tr><td>収 入</td><td>26,921</td><td>26,405</td><td>△ 516</td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>26,697</td><td>25,857</td><td>△ 840</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>24,646</td><td>23,851</td><td>△ 795</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,477</td><td>1,499</td><td>22</td></tr><tr><td> 資産見返運営費負担金等戻入</td><td>573</td><td>507</td><td>△ 66</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>211</td><td>527</td><td>316</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>34</td><td>35</td><td>1</td></tr><tr><td> その他医業外収益</td><td>177</td><td>492</td><td>315</td></tr><tr><td> 臨時利益</td><td>13</td><td>21</td><td>8</td></tr><tr><td>支 出</td><td>26,913</td><td>27,112</td><td>199</td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>25,388</td><td>25,579</td><td>191</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>25,180</td><td>25,396</td><td>216</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>207</td><td>184</td><td>△ 23</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>1,492</td><td>1,479</td><td>△ 13</td></tr><tr><td> 臨時損失</td><td>33</td><td>54</td><td>21</td></tr><tr><td>純 利 益 (△純損失)</td><td>8</td><td>△ 708</td><td>△ 716</td></tr></table> ※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。	区 分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	収 入	26,921	26,405	△ 516	営業収益	26,697	25,857	△ 840	医業収益	24,646	23,851	△ 795	運営費負担金収益	1,477	1,499	22	資産見返運営費負担金等戻入	573	507	△ 66	営業外収益	211	527	316	運営費負担金収益	34	35	1	その他医業外収益	177	492	315	臨時利益	13	21	8	支 出	26,913	27,112	199	営業費用	25,388	25,579	191	医業費用	25,180	25,396	216	一般管理費	207	184	△ 23	営業外費用	1,492	1,479	△ 13	臨時損失	33	54	21	純 利 益 (△純損失)	8	△ 708	△ 716																																																																
区 分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																			
収 入	26,921	26,405	△ 516																																																																																																																																			
営業収益	26,697	25,857	△ 840																																																																																																																																			
医業収益	24,646	23,851	△ 795																																																																																																																																			
運営費負担金収益	1,477	1,499	22																																																																																																																																			
資産見返運営費負担金等戻入	573	507	△ 66																																																																																																																																			
営業外収益	211	527	316																																																																																																																																			
運営費負担金収益	34	35	1																																																																																																																																			
その他医業外収益	177	492	315																																																																																																																																			
臨時利益	13	21	8																																																																																																																																			
支 出	26,913	27,112	199																																																																																																																																			
営業費用	25,388	25,579	191																																																																																																																																			
医業費用	25,180	25,396	216																																																																																																																																			
一般管理費	207	184	△ 23																																																																																																																																			
営業外費用	1,492	1,479	△ 13																																																																																																																																			
臨時損失	33	54	21																																																																																																																																			
純 利 益 (△純損失)	8	△ 708	△ 716																																																																																																																																			
		別表 3 資金計画 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>予算額 (当 初)</th><th>決算額</th><th>差額 (決算 - 予算)</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>42,347</td><td>41,912</td><td>△ 435</td></tr><tr><td> 業務活動による収入</td><td>26,379</td><td>25,765</td><td>△ 614</td></tr><tr><td> 診療業務による収入</td><td>24,691</td><td>23,758</td><td>△ 933</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>1,512</td><td>1,557</td><td>45</td></tr><tr><td> 補助金等収入</td><td>62</td><td>277</td><td>215</td></tr><tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>115</td><td>173</td><td>58</td></tr><tr><td> 投資活動による収入</td><td>6,979</td><td>4,082</td><td>△ 2,897</td></tr><tr><td> 有価証券の売却による収入</td><td>500</td><td>0</td><td>△ 500</td></tr><tr><td> 定期預金の払出による収入</td><td>6,000</td><td>3,500</td><td>△ 2,500</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>478</td><td>478</td><td>0</td></tr><tr><td> 奨学金の返還による収入</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>1</td><td>103</td><td>102</td></tr><tr><td> 財務活動による収入</td><td>2,482</td><td>2,420</td><td>△ 62</td></tr><tr><td> 長期借入による収入</td><td>2,482</td><td>2,420</td><td>△ 62</td></tr><tr><td> 前年度からの繰越金</td><td>6,506</td><td>9,645</td><td>3,139</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>35,424</td><td>35,681</td><td>257</td></tr><tr><td> 業務活動による支出</td><td>24,880</td><td>25,096</td><td>216</td></tr><tr><td> 人件費支出</td><td>11,820</td><td>11,882</td><td>62</td></tr><tr><td> 材料費支出</td><td>8,367</td><td>8,843</td><td>476</td></tr><tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>4,693</td><td>4,371</td><td>△ 322</td></tr><tr><td> 投資活動による支出</td><td>9,589</td><td>9,628</td><td>39</td></tr><tr><td> 有形・無形固定資産の取得による支出</td><td>3,074</td><td>3,117</td><td>43</td></tr><tr><td> 有価証券の取得による支出</td><td>500</td><td>3,500</td><td>3,000</td></tr><tr><td> 定期預金の預入による支出</td><td>6,000</td><td>3,000</td><td>△ 3,000</td></tr><tr><td> 奨学金の貸付による支出</td><td>14</td><td>11</td><td>△ 3</td></tr><tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>1</td><td>0</td><td>△ 1</td></tr><tr><td> 財務活動による支出</td><td>955</td><td>957</td><td>2</td></tr><tr><td> 長期借入の返済による支出</td><td>951</td><td>951</td><td>0</td></tr><tr><td> 移行前地方債償還債務等の償還による支出</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td></tr><tr><td> リース債務の返済による支出</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>翌年度への繰越金</td><td>6,923</td><td>6,231</td><td>△ 692</td></tr></table> ※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。	区 分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	資金収入	42,347	41,912	△ 435	業務活動による収入	26,379	25,765	△ 614	診療業務による収入	24,691	23,758	△ 933	運営費負担金による収入	1,512	1,557	45	補助金等収入	62	277	215	その他の業務活動による収入	115	173	58	投資活動による収入	6,979	4,082	△ 2,897	有価証券の売却による収入	500	0	△ 500	定期預金の払出による収入	6,000	3,500	△ 2,500	運営費負担金による収入	478	478	0	奨学金の返還による収入	1	1	0	その他の投資活動による収入	1	103	102	財務活動による収入	2,482	2,420	△ 62	長期借入による収入	2,482	2,420	△ 62	前年度からの繰越金	6,506	9,645	3,139	資金支出	35,424	35,681	257	業務活動による支出	24,880	25,096	216	人件費支出	11,820	11,882	62	材料費支出	8,367	8,843	476	その他の業務活動による支出	4,693	4,371	△ 322	投資活動による支出	9,589	9,628	39	有形・無形固定資産の取得による支出	3,074	3,117	43	有価証券の取得による支出	500	3,500	3,000	定期預金の預入による支出	6,000	3,000	△ 3,000	奨学金の貸付による支出	14	11	△ 3	その他の投資活動による支出	1	0	△ 1	財務活動による支出	955	957	2	長期借入の返済による支出	951	951	0	移行前地方債償還債務等の償還による支出	4	4	0	リース債務の返済による支出	0	2	2	翌年度への繰越金	6,923	6,231	△ 692				
区 分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																			
資金収入	42,347	41,912	△ 435																																																																																																																																			
業務活動による収入	26,379	25,765	△ 614																																																																																																																																			
診療業務による収入	24,691	23,758	△ 933																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	1,512	1,557	45																																																																																																																																			
補助金等収入	62	277	215																																																																																																																																			
その他の業務活動による収入	115	173	58																																																																																																																																			
投資活動による収入	6,979	4,082	△ 2,897																																																																																																																																			
有価証券の売却による収入	500	0	△ 500																																																																																																																																			
定期預金の払出による収入	6,000	3,500	△ 2,500																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	478	478	0																																																																																																																																			
奨学金の返還による収入	1	1	0																																																																																																																																			
その他の投資活動による収入	1	103	102																																																																																																																																			
財務活動による収入	2,482	2,420	△ 62																																																																																																																																			
長期借入による収入	2,482	2,420	△ 62																																																																																																																																			
前年度からの繰越金	6,506	9,645	3,139																																																																																																																																			
資金支出	35,424	35,681	257																																																																																																																																			
業務活動による支出	24,880	25,096	216																																																																																																																																			
人件費支出	11,820	11,882	62																																																																																																																																			
材料費支出	8,367	8,843	476																																																																																																																																			
その他の業務活動による支出	4,693	4,371	△ 322																																																																																																																																			
投資活動による支出	9,589	9,628	39																																																																																																																																			
有形・無形固定資産の取得による支出	3,074	3,117	43																																																																																																																																			
有価証券の取得による支出	500	3,500	3,000																																																																																																																																			
定期預金の預入による支出	6,000	3,000	△ 3,000																																																																																																																																			
奨学金の貸付による支出	14	11	△ 3																																																																																																																																			
その他の投資活動による支出	1	0	△ 1																																																																																																																																			
財務活動による支出	955	957	2																																																																																																																																			
長期借入の返済による支出	951	951	0																																																																																																																																			
移行前地方債償還債務等の償還による支出	4	4	0																																																																																																																																			
リース債務の返済による支出	0	2	2																																																																																																																																			
翌年度への繰越金	6,923	6,231	△ 692																																																																																																																																			

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価
第5 短期借入金の限度額	第4 短期借入金の限度額					
1 限度額 4,000百万円	1 限度額 4,000百万円	・短期借入金の実績なし	S			S
2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応	2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応					
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に 関する計画						
なし						
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、 その計画						
なし						
第8 剰余金の使途	第5 剰余金の使途					
決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。	A			A
第9 料金に関する事項	第6 料金に関する事項					
1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあっては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めたときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあっては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めたときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	・料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額を徴収した。 ・計画に記載の契約等による額とした。 ・該当なし	B			B

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																							
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																					
第10 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項																										
1 医療機器・施設整備に関する事項	1 医療機器・施設整備に関する事項																										
① 医療機器・施設整備については、費用対効果、地域の医療ニーズ、他機関との機能分担、医療技術の進展等を総合的に判断し、費用の抑制に努めながら実施する。また、現有医療機器・施設を適正に管理し長寿命化に努める。 日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市との協議に基づき医療機器・施設整備を図る。	① 医療機器については、費用対効果、地域の医療ニーズ、他機関との機能分担、医療技術の進展を総合的に判断し、費用の抑制に努めながら整備する。	・医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分化、医療技術の進展等を総合的に判断し、総合医療情報システムや周産期管理システム、一包化錠剤監査装置の導入、パノラマCT装置の更新等を整備し、適切な医療の確保に努めた。	A			A																					
	② 施設整備については、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと、施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また、日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市との協議に基づき地域の医療ニーズに沿って医療機器・施設整備を図る。	・日本海総合病院は施設整備について、中長期計画等に従い、緊急度が高い設備の修繕工事を行った。 【実績】修繕工事（日本海総合病院） <table><tr><th>工事名</th><th>契約額（円）</th><th>概 要</th></tr><tr><td>直流電源装置部品交換工事</td><td>7,700,000</td><td>南棟5階（副電気室）に設置の直流電源装置のメーカー部品交換推奨期間を迎える部品等を更新した。</td></tr><tr><td>空調機ユニット更新工事</td><td>88,000,000</td><td>耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機（手術室系統）1基を更新した。</td></tr><tr><td>ファンコイルユニット交換工事</td><td>24,530,000</td><td>耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニット33台を更新した。（リハビリ系統2台・放射線診断系統31台）</td></tr><tr><td>空冷式エアコン更新工事</td><td>27,940,000</td><td>耐用年数の超過により劣化している南棟のエアコン部品及び室外機を更新した。（1階救命救急エリア系統）</td></tr><tr><td>蒸気ボイラー更新工事</td><td>13,420,000</td><td>エネルギー棟に設置の貫流蒸気ボイラー1基を更新した。</td></tr><tr><td>エレベーター更新工事</td><td>23,980,000</td><td>メーカー部品対応期間が超過している部品等を更新した。（10号機）。</td></tr></table>					工事名	契約額（円）	概 要	直流電源装置部品交換工事	7,700,000	南棟5階（副電気室）に設置の直流電源装置のメーカー部品交換推奨期間を迎える部品等を更新した。	空調機ユニット更新工事	88,000,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機（手術室系統）1基を更新した。	ファンコイルユニット交換工事	24,530,000	耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニット33台を更新した。（リハビリ系統2台・放射線診断系統31台）	空冷式エアコン更新工事	27,940,000	耐用年数の超過により劣化している南棟のエアコン部品及び室外機を更新した。（1階救命救急エリア系統）	蒸気ボイラー更新工事	13,420,000	エネルギー棟に設置の貫流蒸気ボイラー1基を更新した。	エレベーター更新工事	23,980,000	メーカー部品対応期間が超過している部品等を更新した。（10号機）。
	工事名	契約額（円）					概 要																				
直流電源装置部品交換工事	7,700,000	南棟5階（副電気室）に設置の直流電源装置のメーカー部品交換推奨期間を迎える部品等を更新した。																									
空調機ユニット更新工事	88,000,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機（手術室系統）1基を更新した。																									
ファンコイルユニット交換工事	24,530,000	耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニット33台を更新した。（リハビリ系統2台・放射線診断系統31台）																									
空冷式エアコン更新工事	27,940,000	耐用年数の超過により劣化している南棟のエアコン部品及び室外機を更新した。（1階救命救急エリア系統）																									
蒸気ボイラー更新工事	13,420,000	エネルギー棟に設置の貫流蒸気ボイラー1基を更新した。																									
エレベーター更新工事	23,980,000	メーカー部品対応期間が超過している部品等を更新した。（10号機）。																									
③ 地域の医療ニーズに対応するよう、今後の診療提供体制等の検討及び整備等を図る。	・地域の医療機関の機能分化を推進するため、日本海酒田リハビリテーション病院の療養病床35床について休床を検討した。 ・中山間地域において通院が困難な患者に対し、医療MaaSによるコミセンでの診療を開始する等、遠隔診療の拡充を図った。																										
② 高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画（整備計画）のもとに行う。	④ 高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画（整備計画）のもとに行う。	・高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画（整備計画）のもとに行った。 【医療機器・施設設備の計画】（単位：百万円） <table><tr><th>区 分</th><th>実 績</th><th>財 源</th></tr><tr><td>資本支出</td><td></td><td></td></tr><tr><td>建設改良費</td><td>2,525</td><td rowspan="3">設立団体からの長期借入金等</td></tr><tr><td>施設整備</td><td>442</td></tr><tr><td>医療機器等</td><td>2,083</td></tr></table>	区 分	実 績	財 源	資本支出			建設改良費	2,525	設立団体からの長期借入金等	施設整備	442	医療機器等	2,083												
区 分	実 績	財 源																									
資本支出																											
建設改良費	2,525	設立団体からの長期借入金等																									
施設整備	442																										
医療機器等	2,083																										

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和7年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																														
2 法人が負担する債務の償還に関する事項																																				
3 積立金の使途	2 積立金の使途																																			
前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。	B			B																														
4 その他法人の業務運営に関する事項	3 その他法人の業務運営に関する事項																																			
① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	・酒田市・公益財団法人やまがた健康推進機構および診療所等との連携、機能分担のもと地域の検診実施体制の充実を図った。 ・酒田市が実施している「内視鏡ドック」のうち胸部CT、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受託し実施した。酒田市の内視鏡ドックと併せ、PET/CT検査の受診促進のため、市民に周知した。 【実績】内視鏡ドック、PET/CT検診 <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>内視鏡ドック</td><td>93件</td><td>84件</td><td>89件</td><td>87件</td></tr><tr><td>PET／CT検診（一般）</td><td>46件</td><td>29件</td><td>32件</td><td>38件</td></tr><tr><td>PET／CT検診（酒田市）</td><td>13件</td><td>20件</td><td>34件</td><td>21件</td></tr><tr><td>PET／CT検診（山形県市町村共済互助会）</td><td>24件</td><td>30件</td><td>40件</td><td>25件</td></tr><tr><td>PET／CT検診（ふるさと納税）</td><td>2件</td><td>0件</td><td>4件</td><td>1件</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内視鏡ドック	93件	84件	89件	87件	PET／CT検診（一般）	46件	29件	32件	38件	PET／CT検診（酒田市）	13件	20件	34件	21件	PET／CT検診（山形県市町村共済互助会）	24件	30件	40件	25件	PET／CT検診（ふるさと納税）	2件	0件	4件	1件	B			B
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																
内視鏡ドック	93件	84件	89件	87件																																
PET／CT検診（一般）	46件	29件	32件	38件																																
PET／CT検診（酒田市）	13件	20件	34件	21件																																
PET／CT検診（山形県市町村共済互助会）	24件	30件	40件	25件																																
PET／CT検診（ふるさと納税）	2件	0件	4件	1件																																
② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	・病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「庄内北部定住自立圏形成協定」により三川町、庄内町及び遊佐町に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整え、日曜日、祝日、年末年始休業(12/29～1/3)を除き、通年で事業を継続して実施した。また、定員9名とし当日予約の受入れや事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受診付添いサービス及び保育園等からの病児送迎サービスを実施した。 【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数 <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>利用者数</td><td>396名</td><td>616名</td><td>511名</td><td>497名</td></tr><tr><td>うち職員利用者数</td><td>167名</td><td>228名</td><td>153名</td><td>149名</td></tr></table> 【実績】受診付添サービス等利用者 <table><tr><th>区 分</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>受診付添サービス</td><td>0名</td><td>5名</td><td>1名</td><td>7名</td></tr><tr><td>病児送迎サービス</td><td>1名</td><td>0名</td><td>3名</td><td>2名</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	利用者数	396名	616名	511名	497名	うち職員利用者数	167名	228名	153名	149名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	受診付添サービス	0名	5名	1名	7名	病児送迎サービス	1名	0名	3名	2名	B			B
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																
利用者数	396名	616名	511名	497名																																
うち職員利用者数	167名	228名	153名	149名																																
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																
受診付添サービス	0名	5名	1名	7名																																
病児送迎サービス	1名	0名	3名	2名																																
		S：計画を大幅に上回っている（目標数値110％超）	10	0		0																														
		A：計画を上回っている（目標数値100％超110％以下）	22	0		0																														
		B：計画に概ね合致している（目標数値90％超100％以下）	13	0		0																														
		C：計画をやや下回っている（目標数値60％超90％以下）	0	0		0																														
		D：計画を下回っており、大幅な改善が必要（目標数値60％以下）	0	0		0																														
		計	45	0		0																														